



茨城県

茨城県景気ウォッチャー調査

(平成26年3月調査分)

《景気の現状判断DI》

	平成25年12月	平成26年3月	前回調査比
茨城県	54.3	55.9	+1.6
県北地域	56.4	54.6	△1.8
県央地域	49.6	56.5	+6.9
鹿行地域	57.7	57.0	△0.7
県南地域	60.1	55.9	△4.2
県西地域	48.7	55.6	+6.9

《景気の先行き判断DI》

	平成25年12月	平成26年3月	前回調査比
茨城県	54.2	37.1	△17.1
県北地域	50.9	38.9	△12.0
県央地域	54.8	38.9	△15.9
鹿行地域	55.5	34.6	△20.9
県南地域	55.3	37.2	△18.1
県西地域	54.3	36.2	△18.1

平成26年4月

茨城県企画部統計課

目 次

I	調査の概要	1
II	調査結果の概要	3
1	全県の動向	3
	(1) 景気の現状判断D I	3
	(2) 景気の先行き判断D I	4
2	地域別の動向	5
	(1) 景気の現状判断D I	5
	(2) 景気の先行き判断D I	8
3	回答率	10
III	景気の判断コメント	11
1	景気の現状判断コメント	11
2	景気の先行き判断コメント	21
3	その他の意見	31

問い合わせ先

茨城県統計課庶務・企画分析グループ TEL:029-301-2642

ホームページアドレス

<http://www.pref.ibaraki.jp/tokei/betu/bukka/watch/index.html>

I 調査の概要

1 調査の目的

県内の事業所等において経済の第一線で働いている人々から、景気の現状や景気の先行き判断に関する生の情報を地域ごとに把握するとともに迅速に公表することで、県や市町村のきめ細かな施策立案や経済界におけるタイムリーな景気動向判断等の基礎資料とする。

2 調査の範囲

(1)対象地域

県下全域を対象とする。また、全域を県北、県央、鹿行、県南及び県西の5地域に区分する。なお、各地域に含まれる市及び郡は以下のとおりである。 ※平成26年3月1日現在

地域	市 及 び 郡
県北地域	日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、ひたちなか市、常陸大宮市、那珂市、那珂郡、久慈郡
県央地域	水戸市、笠間市、小美玉市、東茨城郡
鹿行地域	鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市
県南地域	土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、稲敷郡、北相馬郡
県西地域	古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、結城郡、猿島郡

(2)調査客体

家計動向、企業動向及び雇用動向を敏感に反映する業種に従事する者から、(1)で示した地域ごとに60名、計300名を調査客体とする。

【地域別・業種別調査客体系数】

業種名	具体例	県北地域	県央地域	鹿行地域	県南地域	県西地域	合計
家計関連	小売業、飲食業、サービス業、住宅関連等	37	39	38	37	36	187
企業関連	製造業（食料品、一般機械器具等）、建設業、金融業	18	16	17	18	19	88
雇用関連	人材派遣業、公共職業安定所、求人広告業等	5	5	5	5	5	25
	計	60	60	60	60	60	300

3 調査事項

- (1) 景気の現状に対する判断（方向性）
- (2) (1) のコメント（理由）
- (3) 景気の先行きに対する判断（方向性）
- (4) (3) のコメント（理由）
- (5) その他景気に関する意見（自由回答）

4 調査月及び調査期間

調査月は3月、6月、9月及び12月の年4回である。平成26年3月調査の調査期間は、平成26年3月1日から平成26年3月31日である。

5 利用上の注意

- (1) DI (Diffusion Index) は景気の方角性 (景気が上向きか下向きか) をみるものであり、景気の水準を判断するものではない。
- (2) ウォッチャーの回答構成比は、小数第1位までの表示とし、表示単位未満の端数は四捨五入した。したがって、構成比の合計は100%とならない場合がある。

※DI(Diffusion Index)について

- 1 景気の現状及び景気の先行きに対する判断の回答区分は、以下のとおり5段階としているが、それぞれに点数化し、これらを各回答区分の構成比 (%) に乗じて、景気の方角性をみるための指標 (DI) を算出している。

回答区分	良くなって いる	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪くなって いる
点数	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0

- 2 具体例
回答者数100名で、回答内訳が以下の場合。

良くなって いる	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪くなって いる
15名	27名	25名	11名	22名

それぞれの回答構成比は

良くなって いる	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪くなって いる
15.0%	27.0%	25.0%	11.0%	22.0%

したがって、DI値は、

$$(1点 \times 15.0\%) + (0.75点 \times 27.0\%) + (0.5点 \times 25.0\%) + (0.25点 \times 11.0\%) + (0点 \times 22.0\%) = 50.5 \text{ となる。}$$

この値は、全員が「変わらない」と回答した場合は、 $(0.5点 \times 100\%) = 50$ となることから、50を上回っているときは、景気は上昇局面にあり、また50を下回っているときは、景気の下降局面にあるといえる。

II 調査結果の概要

1 全県の動向

(1) 景気の現状判断DI

景気の現状判断DIは55.9となった。平成25年12月の調査（以下、「前回調査」という。）より1.6ポイント上昇し、横ばいを表す50を3期連続で上回った。

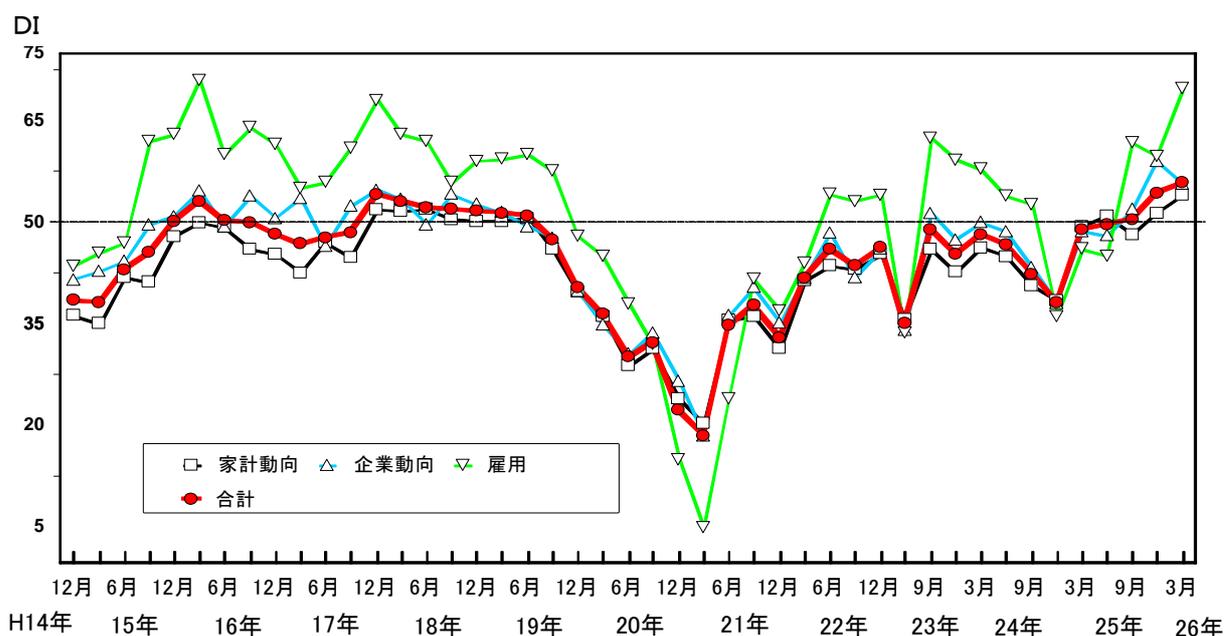
表1-1 景気の現状判断DI

分野	調査年月	平成25年 3月	平成25年 6月	平成25年 9月	平成25年 12月	平成26年 3月
合計		48.9	49.7	50.4	54.3	55.9
家計動向関連		49.4	51.0	48.2	51.3	54.0
小売関連		48.5	51.4	46.7	55.0	63.4
飲食関連		50.0	47.6	46.3	42.5	36.8
サービス関連		48.5	50.0	49.3	49.3	49.6
住宅関連		61.1	63.9	55.6	58.3	50.0
企業動向関連		48.6	48.1	52.0	59.0	55.7
農林水産業		37.5	50.0	54.2	50.0	53.6
製造業		42.4	46.3	52.2	56.1	54.4
非製造業		58.3	50.0	51.4	64.8	57.8
雇用関連		46.1	45.0	61.8	59.8	69.8

表1-2 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成25年 3月	1.5%	24.3%	48.9%	19.0%	6.3%
平成25年 6月	0.3%	26.6%	49.7%	18.2%	5.2%
平成25年 9月	1.4%	21.3%	59.6%	12.6%	5.1%
平成25年12月	3.6%	32.1%	46.6%	13.4%	4.3%
平成26年 3月	5.9%	34.4%	41.1%	14.4%	4.1%

図1-1 景気の現状判断DIの推移



(2)景気の先行き判断DI

3か月先の景気の先行き判断DIは37.1となった。前回調査より17.1ポイント低下し、横ばいを表す50を5期ぶりに下回った。

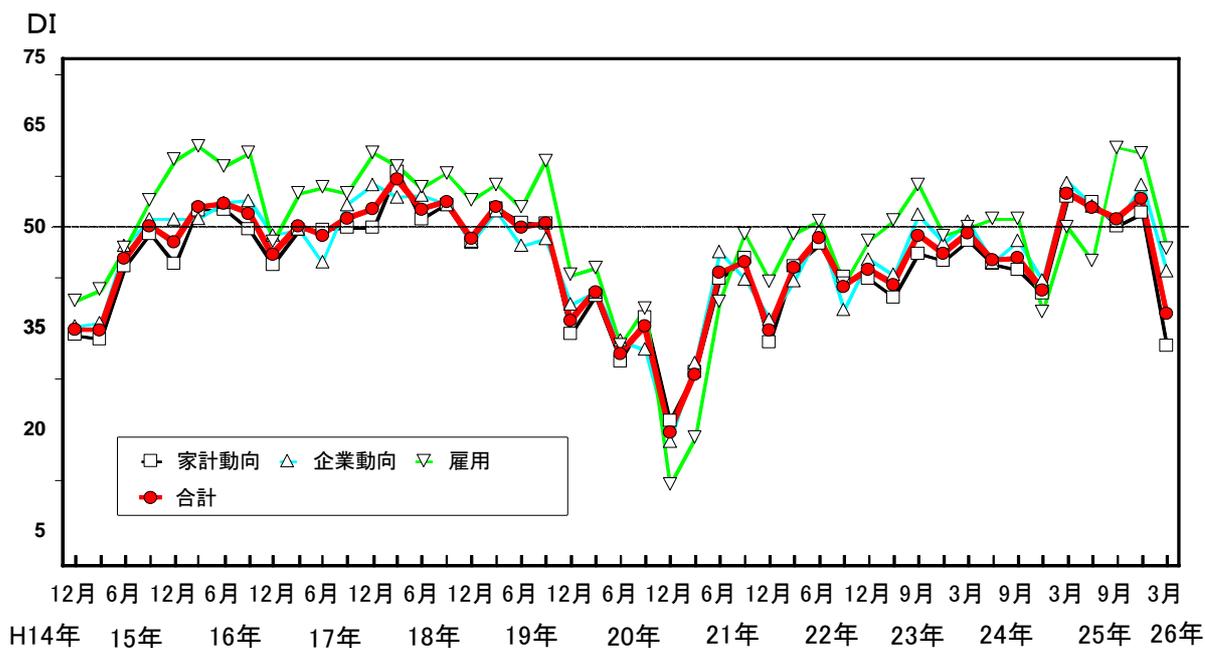
表1-3 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成25年 3月	平成25年 6月	平成25年 9月	平成25年 12月	平成26年 3月
合計		54.9	52.9	51.2	54.2	37.1
家計動向関連		54.5	53.7	50.1	52.2	32.4
小売関連		50.8	52.4	50.7	56.8	30.8
飲食関連		54.8	52.4	46.3	42.5	22.4
サービス関連		55.6	53.4	49.7	50.3	36.4
住宅関連		72.2	69.4	58.3	52.8	37.5
企業動向関連		56.6	53.1	50.9	56.3	43.5
農林水産業		40.6	53.6	45.8	50.0	46.4
製造業		54.1	50.5	50.0	53.9	43.9
非製造業		63.2	56.3	52.8	60.9	42.2
雇用関連		50.0	45.0	61.8	60.9	46.9

表1-4 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成25年 3月	3.0%	35.8%	41.8%	16.4%	3.0%
平成25年 6月	1.4%	28.3%	53.1%	14.7%	2.4%
平成25年 9月	1.8%	28.9%	46.6%	17.7%	5.1%
平成25年 12月	3.2%	32.5%	44.8%	16.6%	2.9%
平成26年 3月	0.7%	13.3%	32.6%	40.4%	13.0%

図1-2 景気の先行き判断DIの推移



2 地域別の動向

(1)景気の現状判断DI

① 県北地域

景気の現状判断DIは54.6となった。前回調査より1.8ポイント低下したものの、横ばいを表す50を2期連続で上回った。

表2-1 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成25年 3月	平成25年 6月	平成25年 9月	平成25年 12月	平成26年 3月
合計		44.5	42.1	47.7	56.4	54.6
	家計動向関連	45.7	43.4	42.4	50.7	53.2
	企業動向関連	43.1	42.1	55.3	67.6	56.9
	雇用関連	41.7	31.3	58.3	56.3	55.0

表2-2 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成25年 3月	4.0%	18.0%	42.0%	24.0%	12.0%
平成25年 6月	0.0%	15.8%	50.9%	19.3%	14.0%
平成25年 9月	1.8%	18.2%	58.2%	12.7%	9.1%
平成25年 12月	7.3%	30.9%	45.5%	12.7%	3.6%
平成26年 3月	5.6%	37.0%	35.2%	14.8%	7.4%

② 県央地域

景気の現状判断DIは56.5となった。前回調査より6.9ポイント上昇し、横ばいを表す50を2期ぶりに上回った。

表2-3 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成25年 3月	平成25年 6月	平成25年 9月	平成25年 12月	平成26年 3月
合計		50.5	50.4	52.9	49.6	56.5
	家計動向関連	52.2	51.4	51.9	50.7	56.1
	企業動向関連	47.1	48.5	51.5	46.9	51.6
	雇用関連	50.0	50.0	68.8	50.0	75.0

表2-4 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成25年 3月	0.0%	33.3%	42.6%	16.7%	7.4%
平成25年 6月	0.0%	31.0%	41.4%	25.9%	1.7%
平成25年 9月	1.7%	23.3%	61.7%	11.7%	1.7%
平成25年 12月	0.0%	26.3%	50.9%	17.5%	5.3%
平成26年 3月	9.3%	35.2%	35.2%	13.0%	7.4%

③ 鹿行地域

景気の現状判断DIは57.0となった。前回調査より0.7ポイント低下したものの、横ばいを表す50を2期連続で上回った。

表2-5 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成25年	平成25年	平成25年	平成25年	平成26年
		3月	6月	9月	12月	3月
合計		47.3	52.2	46.9	57.7	57.0
	家計動向関連	45.8	53.4	45.9	55.0	54.9
	企業動向関連	48.3	46.9	46.4	63.3	57.8
	雇用関連	55.0	60.0	55.0	60.0	70.0

表2-6 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成25年 3月	0.0%	17.9%	57.1%	21.4%	3.6%
平成25年 6月	0.0%	31.0%	48.3%	19.0%	1.7%
平成25年 9月	0.0%	10.7%	71.4%	12.5%	5.4%
平成25年 12月	3.6%	30.9%	58.2%	7.3%	0.0%
平成26年 3月	3.5%	38.6%	40.4%	17.5%	0.0%

④ 県南地域

景気の現状判断DIは55.9となった。前回調査より4.2ポイント低下したものの、横ばいを表す50を5期連続で上回った。

表2-7 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成25年	平成25年	平成25年	平成25年	平成26年
		3月	6月	9月	12月	3月
合計		56.1	50.5	53.9	60.1	55.9
	家計動向関連	57.3	52.2	53.3	56.5	55.4
	企業動向関連	58.3	48.6	52.8	66.2	53.3
	雇用関連	37.5	41.7	66.7	62.5	68.8

表2-8 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成25年 3月	3.8%	32.1%	49.1%	15.1%	0.0%
平成25年 6月	0.0%	23.6%	58.2%	14.5%	3.6%
平成25年 9月	3.9%	27.5%	52.9%	11.8%	3.9%
平成25年 12月	5.8%	42.3%	40.4%	9.6%	1.9%
平成26年 3月	6.4%	25.5%	55.3%	10.6%	2.1%

⑤ 県西地域

景気の状態判断DIは55.6となった。前回調査より6.9ポイント上昇し、横ばいを表す50を2期ぶりに上回った。

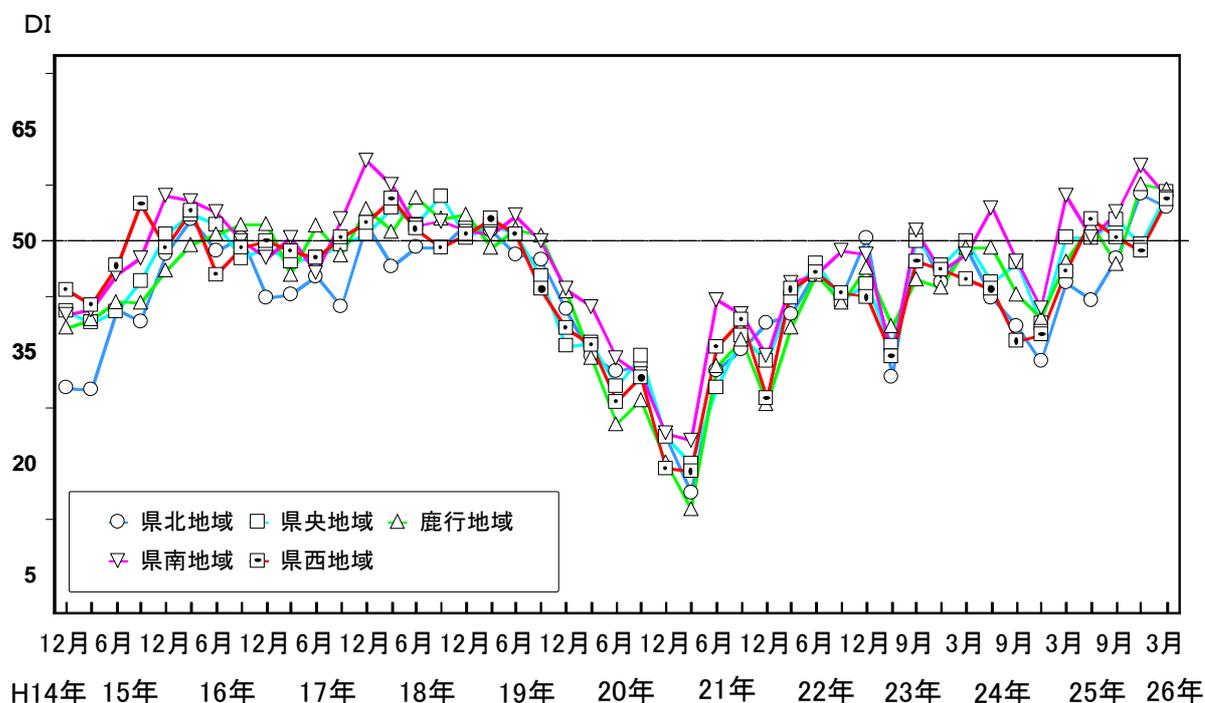
表2-9 景気の状態判断DI

分野	調査月	平成25年 3月	平成25年 6月	平成25年 9月	平成25年 12月	平成26年 3月
合計		45.9	53.0	50.5	48.7	55.6
家計動向関連		46.1	54.4	47.7	44.3	50.7
企業動向関連		46.1	53.8	52.6	51.4	57.9
雇用関連		43.8	37.5	62.5	70.0	80.0

表2-10 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成25年 3月	0.0%	20.0%	52.7%	18.2%	9.1%
平成25年 6月	1.7%	31.0%	50.0%	12.1%	5.2%
平成25年 9月	0.0%	27.3%	52.7%	14.5%	5.5%
平成25年 12月	1.7%	31.0%	37.9%	19.0%	10.3%
平成26年 3月	5.2%	34.5%	41.4%	15.5%	3.4%

図2-1 地域別現状判断DIの推移



(2)景気の先行き判断DI

① 県北地域

3か月先の景気の先行き判断DIは38.9となった。前回調査より12.0ポイント低下し、横ばいを表す50を5期ぶりに下回った。

表2-11 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成25年	平成25年	平成25年	平成25年	平成26年
		3月	6月	9月	12月	3月
合計		52.0	54.4	50.0	50.9	38.9
家計動向関連		51.7	55.1	46.2	45.6	31.5
企業動向関連		52.8	59.2	55.3	58.8	51.4
雇用関連		50.0	25.0	58.3	62.5	40.0

表2-12 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成25年 3月	4.0%	34.0%	32.0%	26.0%	4.0%
平成25年 6月	0.0%	36.8%	49.1%	8.8%	5.3%
平成25年 9月	1.8%	27.3%	49.1%	12.7%	9.1%
平成25年12月	1.8%	36.4%	30.9%	25.5%	5.5%
平成26年 3月	3.7%	13.0%	37.0%	27.8%	18.5%

② 県央地域

3か月先の景気の先行き判断DIは38.9となった。前回調査より15.9ポイント低下し、横ばいを表す50を5期ぶりに下回った。

表2-13 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成25年	平成25年	平成25年	平成25年	平成26年
		3月	6月	9月	12月	3月
合計		58.8	53.9	50.8	54.8	38.9
家計動向関連		58.1	54.7	51.9	56.3	33.3
企業動向関連		63.2	51.5	47.1	51.6	46.9
雇用関連		41.7	56.3	56.3	55.0	50.0

表2-14 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成25年 3月	5.6%	42.6%	33.3%	18.5%	0.0%
平成25年 6月	3.4%	27.6%	51.7%	15.5%	1.7%
平成25年 9月	1.7%	23.3%	56.7%	13.3%	5.0%
平成25年12月	1.8%	28.1%	57.9%	12.3%	0.0%
平成26年 3月	0.0%	20.4%	22.2%	50.0%	7.4%

③ 鹿行地域

3か月先の景気の先行き判断D Iは34.6となった。前回調査より20.9ポイント低下し、横ばいを表す50を5期ぶりに下回った。

表2-15 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成25年	平成25年	平成25年	平成25年	平成26年
		3月	6月	9月	12月	3月
合計		52.2	51.3	51.3	55.5	34.6
	家計動向関連	50.7	53.4	48.6	54.3	31.9
	企業動向関連	53.3	46.9	55.4	56.7	35.9
	雇用関連	60.0	50.0	60.0	60.0	50.0

表2-16 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成25年 3月	0.0%	30.4%	53.6%	10.7%	5.4%
平成25年 6月	0.0%	24.1%	58.6%	15.5%	1.7%
平成25年 9月	0.0%	32.1%	44.6%	19.6%	3.6%
平成25年 12月	3.6%	36.4%	40.0%	18.2%	1.8%
平成26年 3月	0.0%	8.8%	35.1%	42.1%	14.0%

④ 県南地域

3か月先の景気の先行き判断D Iは37.2となった。前回調査より18.1ポイント低下し、横ばいを表す50を5期ぶりに下回った。

表2-17 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成25年	平成25年	平成25年	平成25年	平成26年
		3月	6月	9月	12月	3月
合計		59.0	53.2	50.5	55.3	37.2
	家計動向関連	60.5	52.2	51.7	54.0	35.7
	企業動向関連	58.3	56.9	47.2	58.8	35.0
	雇用関連	50.0	41.7	58.3	50.0	56.3

表2-18 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成25年 3月	3.8%	43.4%	39.6%	11.3%	1.9%
平成25年 6月	1.8%	25.5%	56.4%	16.4%	0.0%
平成25年 9月	2.0%	33.3%	33.3%	27.5%	3.9%
平成25年 12月	1.9%	34.6%	48.1%	13.5%	1.9%
平成26年 3月	0.0%	12.8%	31.9%	46.8%	8.5%

⑤ 県西地域

3か月先の景気の先行き判断D Iは36.2となった。前回調査より18.1ポイント低下し、横ばいを表す50を5期ぶりに下回った。

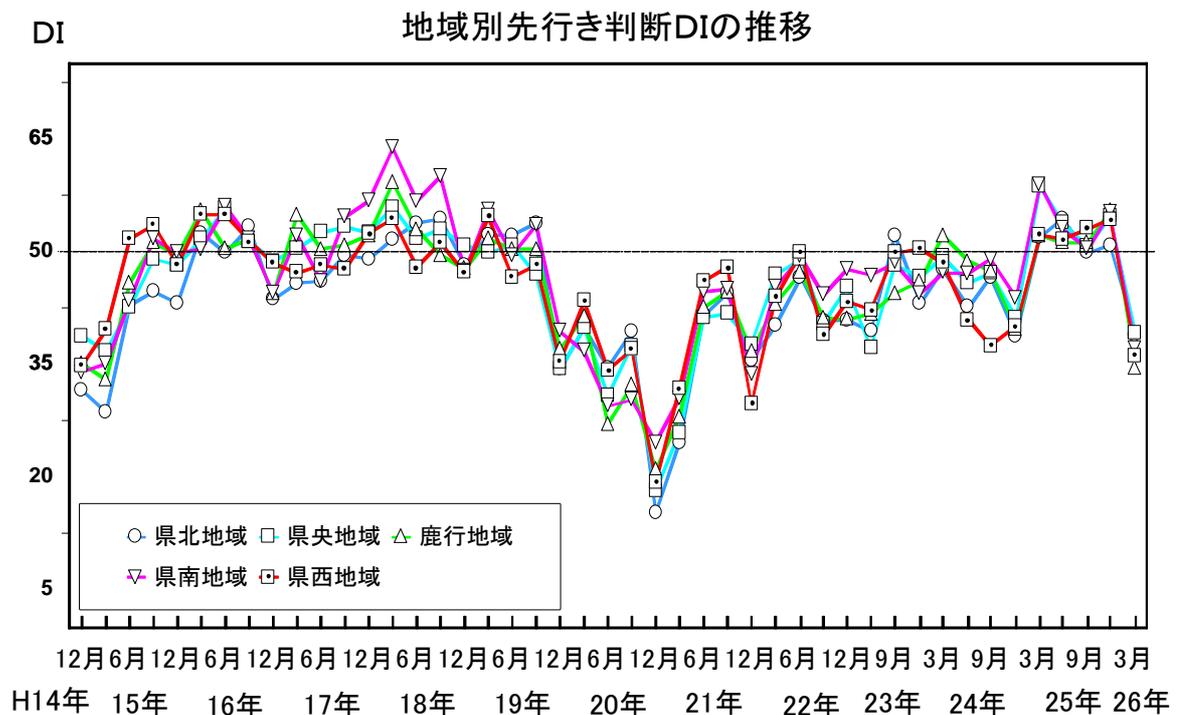
表2-19 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成25年	平成25年	平成25年	平成25年	平成26年
		3月	6月	9月	12月	3月
合計		52.3	51.7	53.2	54.3	36.2
家計動向関連		51.6	52.9	52.3	50.7	30.1
企業動向関連		55.3	50.0	50.0	55.6	46.1
雇用関連		43.8	50.0	75.0	75.0	40.0

表2-20 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成25年 3月	1.8%	29.1%	49.1%	16.4%	3.6%
平成25年 6月	1.7%	27.6%	50.0%	17.2%	3.4%
平成25年 9月	3.6%	29.1%	47.3%	16.4%	3.6%
平成25年 12月	6.9%	27.6%	46.6%	13.8%	5.2%
平成26年 3月	0.0%	12.1%	36.2%	36.2%	15.5%

図2-2 地域別先行き判断DIの推移



3 回答率

地域	調査客体	回答数	回答率
全 県	300 人	270 人	90.0%
県北地域	60 人	54 人	90.0%
県中央地域	60 人	54 人	90.0%
鹿行地域	60 人	57 人	95.0%
県南地域	60 人	47 人	78.3%
県西地域	60 人	58 人	96.7%

III 景気の判断コメント — 1 景気の現状判断コメント

(1) 県北地域 【現状】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良くなっている	家計	スーパー	店舗ではこだわりの商品など、少し高値でも品質の良いものは売れている。テナントなど(衣料品含む)でも売上げは上がっている。花などは前年比2桁の伸びである。住宅も建設のスピードがアップしている。駆け込み分もあるが、それだけではない。
		自動車販売店	世間で言う、「増税前の駆け込み需要」の影響が、高額な商品を扱っているのが、かなりあるように思われる。対前年比をみても、1.5倍の台数が動いている。
	企業	運輸業	建材を中心に貨物輸送の依頼が増えている。
やや良くなっている	家計	商店街代表者	4月からの消費税アップを控え、駆け込み需要が増えている。
		スーパー	総菜を作っているが、値引きしなくても毎日完売である。人数(客数)、売上げが伸びている。
		コンビニエンスストア	消費税増税対策で、ベースアップなど、良い報道も多く、消費は現状においては活発化していると思われる。前年比はクリアしている。
		小売業(工具)	年度末は、例年需要が多い。
		小売業(弁当・惣菜店)	年間の変化の中で春先は売上げは良くなるが通常のそれよりは良い感じである。
		小売業(時計)	高額品ではないが、腕時計の販売数が上がっている。
		スナック	飲食店が割と賑わっている。
		観光型ホテル	前年同期と比較し、宿泊・日帰り予約とも増加している。増税前の駆け込み需要もあると思われる。
		ドライブイン	増税前の駆け込み需要も感じられる。前年比10%くらいアップしている。
	ボウリング場	お客様の話の中で残業が増えたとか聞きます。	
	企業	クリーニング店	客数が増えている。
		林業関係者	材価がそれほど変動していないので、市場は今月くらいまでは良いかと思われます。消費税が8%になるとどうなのか、不安要素があります。
		製造業(精密機器)	同業に仕事を頼んでも、すぐに対応できるところが減ってきた。忙しいと言っている。
		製造業(電気機械器具)	今春から夏場に向けて仕事の山積みも増えて来る見通しです。
		製造業(電気機械器具)	震災需要も落ち着き、売上げが横ばいだったのが、ここ数か月上昇傾向にある。
		製造業(電気機械器具)	作業量が3か月前より増加している。この時期は年度末のため例年どおりのことであるが、特に原子力関連の作業が多い。その他一般産業向け、特にスマートフォンの液晶関連や、自動車関連、鉄道関連の作業もやや多めである。
		製造業(電気機械器具)	例年に比べて製品の売上げが伸び、日々増産に追われているため、景気が良くなってきていると感じられる。
	情報通信業(情報サービス業)	ウィンドウズXPのサポート終了と消費税アップ前の駆け込みで商談が増えているが、小さな商談が多く利益は少ない。	
	雇用	公共職業安定所	12月の新規求人数は対前年同月比11.5%増加、1月の新規求人数は対前年同月比26.3%増加となった。一方、新規求職者数をみると、対前年同月比で11月は18.6%の大幅減少し、12月も9.7%の減少、1月も6.7%の減少となっている。また、周辺企業に現況を聞くと、受注はあるものの依然として、先の見込みが読めず厳しい状況との声が聞かれるものの、新規求人数は12月、1月と、対前年比2桁で増加してきており、やや改善してきたような感がある。
学校就業関係者		製造業を中心に求人倍率が上昇している。	
変わらない	家計	小売業(水産物)	客数は増加の傾向であるが、客単価が伸びない。
		レストラン	人の流れが変わらない。
		製造業(一般機械器具)	良くも悪くも、それを実感することがない。
		旅行代理店	売上げ額が前年比で見ると変化が見られない。
		タクシー運転手	政府は、景気は少しずつ上昇中というが、県北タクシー業界にはその感じはないと言うのが実情です。4月からの消費税アップ関連の駆け込み需要を多少なりとも期待したが、当業界とは無縁のようで、売上げアップには繋がらなかった。
		ゴルフ場	低価格の料金でもさらに値引きされてしまう。
	ゴルフ場	1~3月の各月1日時の予約ベースについて、1月、2月はやや低調であったが3月でやや持ち直し、10~12月の3か月のベース83ポイントであったのが、1~3月、3か月のベースは84ポイントで推移した。1ポイント良くなっている。全国的に大雪で、計画に対し2月は大幅来場減となる。	
企業	製造業(製缶)	受注量が横ばい。	
	製造業(電気機械器具)	受注状況等に変化なし。	

変 わ ら な い	企業	製造業（輸送用機械器具）	国内販売に於いては大きな変化はなく、軽自動車及びハイブリット車を主体とした販売が続いており、又、北米や中国等を中心とした海外販売も持ち直している。一方、地産地消の動きは止まらず、又、消費税アップに伴う駆け込み生産の影響も見当たらず結果的に大きな変化に結びついていない。
		建設業	見積件数もさほど変化していないので、まだ、設備投資意欲は保たれていると思う。
		金融業	企業の設備投資は依然として低調で、新規融資の相談も少ない。売上低迷を原因とした貸出金に対する返済額軽減等の条件変更の相談が依然として多い。
	雇用	求人広告	業界として需要期であるがそこまで大きな変化は感じない。
		求人開拓員	中小企業様においては、大手企業のベースアップの話など関係ないと言っている経営者が多い。
や や 悪 く な っ て い る	家計	商店街代表者	少子高齢化による需要の減、年金生活者の可処分所得に対する減額と各種負担増による消費マインドの減退が考えられる。
		コンビニエンスストア	地元大手企業関連などのリストラの話も聞かれており、予約商品などの購入にも影響している。一部の地域では、住宅の転居が多くなっている地域もあり、客数に影響していると思われる。
		衣料品販売店	寒いせいか、来客が少ない。
		小売業（酒類）	主力であるアルコール飲料、特に単価の高い日本酒、ワイン等の店頭販売が悪いと感じている。
		観光型ホテル	ここ最近はお客様の動きが少なく、来場されたお客様をみても観光やお土産物の購入も抑えているように見える。
	企業	製造業（電気機械器具）	先月（2月）までは受注量が多かったが、3月は受注量が減少している。
		製造業（電気機械器具）	年度末に向けて、製品的に生産数が落ち込む要因がある。
		運輸附帯サービス業	大手メーカーの統廃合により、請負作業量の減少が現実的に影響している。（メーカー側の余剰人員対策のため）
	家計	居酒屋	売上げが少ない。
		中国料理	卒業や送別会などのシーズンだが、全体的で会をやるのではなく、少人数での予約が多いです。一人単価も低くなっているため、景気は悪くなっています。
タクシー運転手		チケットでの乗車人数が少なくなった。待機時間が増えた。貸し切りでの利用が減った。夜間、飲食店での配車が少なくなった。	
企業	不動産業	消費増税に伴う駆け込み需要の反動が大きく、受注に結びつかない。	

(2) 県央地域 【現状】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良くなっている	家計	自動車販売店	消費税導入前の購入客が増え、エコカーを中心に売上げ増になっております。
		専門スーパー	4月に向けての消費税アップの影響が多分にあると思われるが、3か月前に比べると買上げ点数、客単価等軒並み伸びており、まとめ買いが多くみられるようになってきた。
		建築設計事務所	仕事が増え、人手不足の傾向が強い。今がピークではないかと思う。
	企業	製造業(一般機械器具)	同業者も良くなってきています。
		製造業(精密機械器具)	決算期年度末の予算調整による当月受注・当月出荷と、新消費税対策による売上が大きな要因です。
やや良くなっている	家計	商店街代表者	増税の影響もあると思いますが、商談や見積り依頼の件数が増加しています。
		商店街代表者	毎年、1月は初売りセールを行っております。今年も例年と同企画で実施しましたが、昨年より初売りセールも他の商品も1月の売上げは悪かった。しかし、2月以降、例年より受注が多くなり、大変忙しくなった。
		百貨店、総合スーパー	増税前の駆け込み需要が高額商品ゾーンでは見られ始めている。まだ、デイリー商品の動きには影響は薄い。
		スーパー	3月は、消費税増税前で買い込み需要があると思う。ぎりぎり食品も買上げが増えてくると思う。常温品で賞味期限の長めの食品に限り、点数アップにつながると思う。
		スーパー	良くなっている要因として、4月から消費税8%アップ前のまとめ買いがみられます。調味料、紙(ティッシュ、トイレットペーパー)、ビールのまとめ買いがみられます。良くなっていると言いたいのですが、3月に競合スーパーがオープンし、1割程度の影響があるので、やや良くなっているとしました。
		スーパー	天候もあるが増税前のストック確保の意味もあり、やや良くなっているのではないかと。
		コンビニエンスストア	増税前ということが理由かは分かりませんが、タバコの販売状況が若干ですが良くなっていると考えます。
		コンビニエンスストア	値段だけではなく、良質の商品であれば、買って頂ける様になっている。
		家電販売店	消費税のアップの為だと思いますが、商品の買い替えが増えてるように思う。前年よりは売上げが伸びている。
		都市型ホテル	稼働が徐々に良くなっている。
	タクシー会社	3か月前と比較して、景気上昇の気運が高まっており売上げにも数字となって現れています。しかし、上昇スピードは「柔らかに」上がっているように感じられ企業法人・一般消費者も慎重に景気動向を見ているものと判断しています。	
	レジャー施設	年度末であり、利用契約の更新時期ということで、新規利用申し込みは増加している。	
	企業	製造業(窯業・土石製品)	給料のアップなど報道をみると景気は良くなってきていると思う。増税前の一時的なものかもしれない。
		不動産業	消費税の増税を迎えて、住み替えなどのお客様も増えている。例年に比べて年明けから積極的に探す傾向にある。
	雇用	人材派遣業	仕事の依頼が確実に増えてきている。
求人広告		求人広告掲載の企業様が増えている。	
公共職業安定所		有効求人倍率は12月に比べると上昇している。これは例年見られる傾向であるが、過去の2年における12月からの有効求職者数と有効求人数の増減を比較してみると、有効求職者数は減少傾向にある中で、有効求人数は着実に増加している。	
学校就業関係者		民間企業から業務拡大に伴う求人が増えている。特に、本年3月卒業予定者向けの求人が昨年同期より増加している。	
求人開拓員		この時期、公的機関の求人も多数あります。求人数を見ると対前月比115%の増加です。しかし、一般企業の正社員の求人は、対前月比84%と低調でした。採用関係を見ると正社員の採用人数に若干の伸びがみられます。	
変わらない	家計	百貨店、総合スーパー	3か月前は、歳末・クリスマス商戦が活発だった。3月も消費税増税前の駆け込み需要による売上げ増が考えられる。
		農産物直売所	3か月前と同じような平年比での販売高になっている。
		レストラン	予約状況やファミリーの利用も大きな変化はない。今まで同様、昼の利用の動きはあるものの夜の利用はまだまだ鈍い。
		タクシー会社	1台当たりの1日当たりの営業収益が横ばい状態である。
		旅行会社	毎年変わらない予約率である。
		レジャー施設	大雪の影響で入場者もトータル的には減少しているが、団体客も回復してきているので変化は無いと感じている。

変わらない	家計	理・美容店	3月は、2月が寒かったせいか、年末の忙しさとほとんど変わらない様な気がします。
		理・美容店	売上げの伸びがそれほど変わらない。
		住宅販売会社	住宅に関しては、経過措置終了以降、動きが止まってしまった。
	企業	農業関係者	雪害による農作物の被害が多少発生したが、当地区は大きな被害とはならなかった。
		製造業(食料品)	特に大きな変化は見られず、良くなっているとは思われない。
		製造業(印刷・関連業)	受注量が減少している。
		建設業	様子見て慎重さがうかがえる。
		運輸業(道路貨物運送業)	消費税増税後の関連で、製造が増えているところもあるが、思ったより貨物の動きは落ち着いている。
サービス業(広告業)	情報通信業(情報サービス業)	市場が動き出し、顧客の様子には明るさが出てきたように感じるが、これも業種により差があり、期待する設備投資には、全体的にまだ様子見傾向が強い。また、競業が激しく、利ざや面では一層厳しさが増えているとの顧客談もある。弊社では、改正消費税前の商談活性化に、若干関わった程度であった。	
	サービス業(広告業)	年度末、消費税増税前と、宣伝広告が増えると予測していたのだが、昨年同時期とほぼ変わらない。収入安定層(公務員・大手企業社員)を相手にしている高額商品は売れるようだが、一般的には消費税増税に対する不安で、出費を抑制している。	
やや悪くなっている	家計	スーパー	寒い日が多いので、年配の方々が出てくるのがおっくうになると言っている。また、消費税の増税で、家電や自動車等に出費しているので、食料費等は切り詰めているようだ。
		タクシー運転手	例年に比べると今月の前年比は売上げが伸びておらず、景気はやや悪くなっていると判断する。
		ドライブイン	借楽園では、今年度一番の集客を見込んでおりましたが、今現在、例年になくお客様は来店されませんが、売上げに繋がっていないように思います。
		観光名所	記録的な大雪の影響で観光業を営む弊社にとって2月は大きく売上げを落としましたが、天候の影響を除いたとしても、消費購買意欲は落ちてきている。消費税増税前で、趣味嗜好品よりも生活必需品へ消費が傾いているのではないかと。
	企業	製造業(食料品)	普段減多に降ることのない雪が降ったり、風が吹いたり、それも土日に掛けて悪天候になり、消費が落ち込んでいる。
		製造業(金属製品)	3か月前が増税前の駆け込みのピーク。現在は3か月前に比べると、仕事の量はかなり落ちている。ただし、落ち着いたといっても、仕事の量は適正水準を保っている。
		金融業	一部の製造業において受注が増加するなど景気回復の兆しが見られるものの、消費税増税により4月以降個人消費の落ち込みが懸念される。
悪くなっている	家計	スーパー	2度にわたる週末の大雪で客足が大きく落ち込み、売上が大幅に減少した。
		割烹料理店	3か月前は、忘年会シーズンで賑わってありました。
		ゴルフ場	2月の降雪により6日間のクローズがあり大幅な減収となった。
	企業	製造業(印刷・関連業)	前年同時期で比べても売上の減少が止まらない。

(3) 鹿行地域 【現状】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	タクシー運転手	前年同時期の売上げと、現在の売上げを比較すると、大分伸びている。
		クリーニング店	1月2月と天気も悪く、客数も減少していたが、消費税アップのため、3月に入ると季節の変わり目と相まって、一時的に良くなっていると思います。
やや良くなっている	家計	商店街代表者	増税前の駆け込み需要と、企業関係の好況からなのか、そそわした雰囲気があり、売上げは良くなっている。
		商店街代表者	売上げが少しづつ伸びている。景気は良くなっていると思います。
		スーパー	消費税の関係で買いだめが若干ある。
		スーパー	増税前の駆け込み需要かと思われる。
		コンビニエンスストア	当社で販売している高付加価値のある食パンなどの売れ行きも良く、消費者の「質の良い商品ならば少し高くても購入しよう」という意欲が以前よりも高まっていると思われます。タバコ・洗剤などの増税前の買い置きは始まっています。
		家電販売店	増税前の購入が1月から始まっています。その中で、新築関連の話も多く聞きます。通常よりワンランク上の商品が売れています。
		自動車販売店	タクシーの運転手など、自分の会社に来る人たち等の話でも、現時点では良い方向性にみえる。
		農産物直売所	客数や単価を見ても、数字的に良くなっている。
		小売業（菓子販売店）	3月の対前年比（売上げ）は良くなっている。
		小売業（金物店）	消費税の関係受注が多少増えている。
	レストラン	消費税が上がる前の、購買力というか、高価な物に対して良くなっている気がします。食の方ではそのような傾向は少ないです。	
	ゴルフ場	雪でキャンセル等あったが、前年より来場者が増加した。	
	企業	製造業（食料品）	季節柄、卒業祝、入試合格祝、入社祝等祝い事が多いので売上げは伸びています。また、3月は節句などもあり、デパート等のイベント出店がいつもの年より多く、またインターネット販売が好調です。
		製造業（食料品）	水揚量増大による原料価格の若干低下と売価アップが進捗しつつある。
製造業（輸送用機械器具）		年末年始に掛けて受注が増えている。（消費税駆け込みかも？）また、中長期的な受注が見込めるようである。（海外から帰帰）	
建設業		消費税の駆け込み需要で忙しいです。新築着工件数が多い。	
保険業		新車を購入する人が多くなってきている。	
サービス業		試験分析サービス業であるが、業務依頼が増加傾向にある。年度末の予算消化の発注が昨年に比べやや増加しており、回復傾向を感じる。	
雇用	人材派遣業	鹿島コンビナートはご承知の通り素材産業が圧倒的であり、全国の製品工場が繁忙なため鹿島の各社とも現場はかなり残業折込みで作業している模様である。勿論年度末対応の影響もあると思う。したがって、人材派遣業を営んでいる者として人材の確保が難しい状況にある。	
	民間職業紹介業	求人件数が以前より増えてきた。しかし、求職登録者が相変わらず伸びず、なかなかマッチングに難がある。	
	公共職業安定所	業界にもよるが、消費税率アップ前の駆け込み需要や輸出関連の好調傾向などで、全体的には改善されていると思われる。	
	就職支援センター	流通、小売部門の内需関連業種に大型の求人需要が認められる。他、一部に消費増税に伴う駆け込み需要関連と思われる求人の増加がある。	
変わらない	家計	スーパー	お客様のお買い上げ数量、単価に現状大きな変化はありません。
		コンビニエンスストア	買い上げ点数に変化なく、客単価が下がっている。たばこ販売のマイナス分が要因だが、お客様の購買意欲、消費行動に大きな変化はありません。
		小売業（酒類）	客数も客単価もほぼ変わらない。
		小売業（書店）	増税前の駆け込み消費が一番大きいと思います。市場の動きは変化ないため、（景気判断は）変わらない。
		洋食食堂	12月1日と前年売上げをクリアした。しかし、2月の大雪のため、店休になってしまったり、来店客が減少した。2月の気候の変化がなければ、状況も捉えられたと思うが、判断しづらかった。
		割烹料理店	時期としては、歓送迎会などで忙しくなるが、相変わらず、接待の予約が少ない。
		日本料理店	特に変化がないので、現状維持なのかなと思います。
		タクシー運転手	アベノミクス効果で、一部大手企業は景気上昇しているが、全体的には景気の回復はみられず、相変わらず節約ムードが高く、乗車は少ない。

変 わ ら な い	家計	レジャー施設	来場者数などにおいて、季節的変動要因を除き、大きな変動がない。	
		理・美容店	世の中景気が良くなっている人は、ほんの一部だけで、全体が良くなっているようには見えない。	
		理・美容店	景況感が改善されている感じは少ないと思います。増税に対する警戒感を感じます。	
		室内装飾業	消費税の増税前で今は売り上げも上向いているが4, 5, 6月はその反動で消費者の財布のひもが更に固くなると思われる。	
	企業	住宅販売会社	相変わらず来店数が伸びないが、顕著な動きはない。	
		農業関係者	農業関係については、今冬の雪の影響により、農産物の価格が前年度と比べると3割程度高くなっている状況である。しかし、農産物の価格は、天候に左右されるため、まだまだ、景気が良くなっている実感は沸いていないと思われる。	
		製造業（食料品）	大企業、大手スーパーのない地域での消費者の動向は、景気は変化なし、または悪化の傾向にある。	
		製造業（化学工業）	需要は変わらず、稼働は比較的順調だが、原燃料高止まりの影響は大きく、価格転嫁は追いついていない。	
		建設業	消費税増税前の売上げ上昇と言われているが、建設業界においては人員不足等があり、景気の上昇とは違っていると思われる。	
		製造業（鉄鋼業）	生産量は高水準で推移しており、繁忙感がある。	
		金融業	上場企業を中心とする大企業の株価・決算内容等を見る限りでは、景気の上昇基調が窺えるが、私たちの取引先である中小零細企業や個人等に関しては、そういった影響はほとんどなく、3か月前と比較して景気は変わっていないと感じる。	
	不動産業	新築物件、コーポ完成前、完成後の予約が思っている以上に悪いです。全体に物件が多いせいもあると思うが…。2月度は居酒屋、スナック等、近年で一番売上げが悪いようです。		
	や や 悪 く な っ て い る	家計	小売業（食品）	小売業をしていますが（食品製造）大雨、大雪の影響か特に週末の売上げが悪かった。
			小売業（薬品店）	増税前の高額な買い物に消費が回っている様で、薬や雑貨は落ち込んでいる。
衣料品販売店			客数の減少があった。客単価も昨年対比で悪い。	
観光型ホテル			客単価が減少傾向です。	
観光型ホテル			利用者の消費単価減によるアベノミクス政策期待度が下がってきている。	
タクシー運転手			直近の乗車状況では、減少が多く作業高の低下が目立つ。	
タクシー運転手			平成25年12月はこれまでの暮れの売上げとしては異常なほど悪かった。にもかかわらず、1, 2月はこれに輪をかけるほど悪かった。個人的には一日7千円ほどマイナス。毎度の事ながら夜も動かない。	
ドライブイン			2月の大雪で観光客が減少した。	
住宅販売会社		来場者数の減少や、お客様から『景気が良くなっている感じがしない』との声を良く耳にする。		
企業		運輸業（道路貨物運送業）	昨年12月頃から在庫は落ちてきている。今年3月末までに潤沢に在庫できればと考えていたが、思ったほどではない。新規貨物の引き合いも出てきていない。	

(4) 県南地域 【現状】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良くなっている	家計	コンビニエンスストア	プチ贅沢が多いように感じる。お客様の商品単価が高まっている。お客様の話をうかがっても、値段を以前より気にしなくなったという声が入っております。
		専門スーパー	2月中旬より消費税の駆け込み需要あり。
やや良くなっている	家計	企業 建設業	自社の業況は良く、忙しいときには協力業者に応援を依頼し来てもらうのだが、まったく人が集まらない。皆忙しいようである。
		スーパー	大雪の影響で売上げを大きく落とされたものの、最終的に前年比をクリアできた。客単価、買い上げ点数が伸びていることから、景気はやや良くなっていると判断した。
		スーパー	3か月前と比較し、前年比ベースで単価がプラス3%、買い上げ率がプラス2%となっており、購買意欲が高まっていると考える。
		小売業（生花店）	建築関係の注文が増加している。駆け込み需要と思われるが。
		農産物直売所	地元の新鮮野菜が毎日入荷していますので、地元のお客様は毎日少しずつ購入していて毎日来てくれています。
		タクシー運転手	消費税の値上げに対する駆け込み需要の傾向が見られる。
		ゴルフ場	ゴルフ場の予約に関する問い合わせが増えた。また、一般会員にも回数（来場）の増加が見受けられる。
変わらない	企業	ボウリング場	ファミリーの方の増加が見られる。
		製造業（窯業・土石製品）	受注が順調に推移し、公共事業案件も昨年より増えてきている。
		建設業（設備工事業）	消費税増税の影響で3月までにとの発注が増えた。
		求人広告	サービス業を中心に、採用する企業に増加傾向がみられる。
		雇用 学校就職関係者	専門職で就職が伸びている。人が足りないという声が多く聞かれ、市場が賑わっている様子がうかがえる。 大卒生は求職者が多く厳しい状況であることから全体で景気が伸びているとは言えないと思う。
		求人開拓員	県や国、市町村の臨時職員、嘱託職員の求人が出ているが、学歴、資格等にあまり縛られない事務職の仕事が、今回は人が集まらず、締め切り日を延ばして欲しい旨の依頼が非常に多い。私も求人開拓員を5年やっているが、かつてないことだ。民間が良くなっているのかと思う。
変わらない	家計	スーパー	消費税の増税前の買いだめ傾向があり、景気が良いように感じるが、実際にはほとんど変化がないので変わらない。
		コンビニエンスストア	お客様の購買行動に大きな変化はなく、客単価、買い上げ点数共に、変化が出ていない。
		ガソリンスタンド	来店客数や客単価に変化がない。
		和食食堂	増税前の駆け込み需要はあるが、同時に増税後に備え買い控えもある気がします。
		寿司店	来店客数は常連さんがほとんどで、たまに新しいお客様がくるがほとんど変わらないです。
		都市型ホテル	現在、宿泊では、客単価や集客数は微増している状況であり、レストラン需要はマイナス傾向である。宴会は需要により発生しているので、全て相殺しても、景気はあまり変わらない状況と思える。ここところレストランがマイナス傾向であるが、他社が伸ばしているのか、新規参入同業他社の出現の影響かは定かではないが、何れにしてもマイナスが続いている。
		都市型ホテル	宴会及びレストランの予約状況をみると、あまり件数や料金（一人当たりの単価）に変化がみられない。
		タクシー運転手	駅から乗車されるお客様が増えてこない。
		旅行代理店	お客様のご利用率から見ても、特に良くなっているようには思えない。
		タクシー運転手	3か月前と今月では、稼働台数に変化はあるものの（減少傾向）、繁忙期の12月と3月を比較すること自体に無理があり、景気の良し悪しを感じるには短期的すぎる。
		タクシー運転手	日中の仕事はそこそこあるが、夜のお店はあまり変化がない。
		ゴルフ場	45年に一度の大雪のため、通常の営業がしばらく出来ず、来場者も少なかったため、判断材料が少ないが、大雪の前の予約状況から推測すると、昨年とほぼ同様と思われるため、変わっていないのではないかと。
		住宅販売会社	土地購入希望は相変わらず多いが、購入判断が慎重になってきている。
		企業	農業関係者
製造業（飲料）	景気のいい話を聞かない。		

変わらない	企業	製造業（窯業・土石製品）	いろいろな工事が集中しておりますが、人件費、資材の値上がりもあるが、景気が良くなっている感じはしない。
		製造業（非鉄金属）	大手自動車メーカーからの受注量は増えたが、コスト面で燃料代、材料、その他上昇しており、収益面が低下、増収減益の状況にある。
		建設業	周囲の一部（全体の15～20%）のものが騒いでいるが、さっぱり仕事は回ってこない。かえって悪くなるのではないとも言っている経営者もおります。我が社も2月下旬よりパタッと注文が止まった。これはなんだろう。決して発注者の経営がすこぶる悪い状況ではないはず。遠回しに課長、係長クラスにそれとなく聞いても、上の経営者はそれほど慌てる様子がない。やる仕事はあるのに。
		建設業	今月は年度末なので、工事関係の仕事をしている会社は忙しいのが毎年のことであるが、近辺の業者の状況を見ても、それほど忙しいようには見えない。しかし、暇な業者もいないので、景気は変わっていないと判断する。
		運輸業（倉庫業）	4月からの増税で各荷主（お客様）の動向が気になっていたが、生産増加等の動きがみられず、前年比と比べると伸び率が悪い。
		金融業	土木、建築関係で受注が増加しているものの、資材等が値上がりしており収益回復には至っていない。景況感についてタクシー利用者の声は変わらないという声が多い。
		不動産業	消費税アップ前の要請増によるプラス面がある反面、本格的な景気の回復には至っていないように感じられ、相対的にプラスマイナス変わらない状況である。
やや悪くなっている	雇用	人材派遣業	世間では、景気回復と言われてはいるものの、大手のみで、中小まではまだまだの様である。そのため、当業種での活用までには至っていない。
	家計	洋食食堂	予約件数がない。昼の客数も少ない。夜の来客数も全くない。
		タクシー運転手	乗車回数が減少している。夜間の飲食店よりの迎車も以前より少ない感じがする。
		理・美容店	お客様の中には、「赤字から黒字になった」とか「ボーナスが少し増えた」とか聞くときもありますが、あくまで一部であり、うちのお店にしても売上げが良くなっていない。逆に、周りの同業者でも副業を始める人も出てきている。とても良くなっているとは思えない。
企業	製造業（食料品）	円安によるガソリン・材料費（プラスチック関連）等の値上がりにより原価率がアップしている。	
	製造業（食料品）	売上及び客数等少し減少しており景気はやや悪くなっていると思います。	
悪	家計	小売業（酒類）	来客数が少ない。客単価も利益率も減少傾向にある。

(5) 県西地域 【現状】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良くなっている	家計	衣料品販売店	増税前の駆け込みなのか、今月はたいへん売上げが上がっています。
	企業	製造業（窯業・土石製品）	現在バブル期頃を思い出すような、受注を受け入れられないほど超繁忙で、注文を受けるのをお断りしたくないのですが、消化できないので、残念ですが本当に申し訳なく断腸の思いでお断りしている状況です。原因は、消費税施行前の小売業者の先食い受注にあると思います。5月以降必ずこの反動があることを心配しています。
	雇用	人材派遣業	仕事が多くなった。一時的なものだと思います。
やや良くなっている	家計	商店街代表者	新学期、入学シーズンに入り、売上げはアップしている。
		スーパー	増税前の影響なのか、客単価（一品単価、買い上げ点数）が上がっている。
		コンビニエンスストア	お客様の買い上げ点数は増えており、客単価が上がってきている。品質が良い物のほうが安い物よりも動きが良い。
		農産物直売所	景況感は、少しずつ良くなってきていると感じます。売上げ、客単価ともに前年比で上回っている。また、野菜等の高騰もあったが、買い控えといった感じは受けませんでした。
		ガソリンスタンド	特に建設、土木関係のお客様が忙しそうで、油の消費が増えている。
		ビジネスホテル	圏央道の工事やパーキングエリアの工事など、公共工事関係の動きが多い。企業の設備投資も年度末駆け込みの工事があるようだ。
		ドライブイン	天候等の要因を除けば、客単価、来客数ともに改善されつつあり、明るさが見えてきた。
		ゴルフ場	特に理由はないが、予約状況や反応がある。消費税の絡みもあるのか、クラブ販売などの問い合わせもある。
	理・美容店	気温の低さが客足を遠ざけている。カラーリング、パーマと特殊技術の量は増えている。少しずつ財布の紐が緩んできたと思われる。	
	企業	製造業（食料品）	売上げ高は昨年同期と比較して高い水準となっている。高級品の売上げが増えている。
		製造業（窯業・土石製品）	冬期は需要が少ない。春の需要の方が多く、受注増。
		建設業	消費増税の関係で忙しい。
		電気工事業	仕事が出てきた。
金融業		建設関連業や自動車関連業を中心に活発な動きがあり、今後、景気回復を牽引していくと思われる。雇用や求人面においても状況は良くなっている。	
不動産業		消費税増税を直前に控えているにも関わらず、売買の成約が続いている。	
雇用	求人広告	今後の景気の見通しが不明な為、今のうち採用に予算を使うという企業がある。その為、現在はやや景気が良いと感じている。ただ、先々の予算を今使っているだけなので、見通しは楽観出来ない。	
	公共職業安定所	1月新規求人数は17%増加し、産業別で見ると、製造業で25.9%増加、卸売小売業で88.6%増加となっている。消費税増税前の駆け込み需要による影響と思われる。	
	学校就職関係者	「仕事量は増えているが材料高騰により利益が出なくて困っている」との声が多い。物の動きは増えている。	
	求人開拓員	徐々に求人（正社員）が増えている。	
変わらない	家計	商店街代表者	私の周りでは、景気の良くなる要因が何もない。
		スーパー	客点数、客単価が変わらない。
		コンビニエンスストア	増税前にして、買いだめ需要等考えられるが、今のところそういった動きは感じられない。
		家電販売店	単純に増税前の駆け込みで、以前の増税やエコポイントの時のような組み合わせはない。
		専門スーパー	一時的に増税による特需は発生しているが、高額の価格帯にシフトしているわけではない。
		和食食堂	来客数は多くなってきたが、雪の影響でキャンセルが相次いだり、野菜の値上がりがあったので、利益率は変わらない。
		都市型ホテル	4月の消費税増税を目の前にして、駆け込み需要というような言葉を耳にしますが、私たちの業界はほとんど関係ありません。売上げも横ばいのままです。
		タクシー運転手	駅から乗車するお客さん及び電話等でのお客さんのタクシー利用が変わらない。
		タクシー運転手	地域の活力がない。人口減を感じる。
		ドライブイン	観光バスの入りが増えたように思うが、客単価、客数ともに伸びはない。
		ゴルフ場	予約の状況から、変わらないと判断した。
レジャー施設	お客様との会話の中で、いい話は聞かない。消費税増税に対する心配の声が多い。		

変 わ ら な い	家計	理・美容店	消費税増税前に職種によっては良くなることもあると思うが、うちはサービス業なので変わらないと思う。
	企業	農業関係者	やや良くなっているようでしたが、寒さの影響もあり、農産物の収穫が少なく、前と変化なし。
		農業関係者	物の動き方や金融商品の売れ方が鈍い。
		製造業（食料品）	求人を継続しているが、大手企業に人が流れ中小企業には人が回ってこない。雇用が回復してきていると思われるが周りの取引先は、4月からの消費税アップ後の落ち込み分と相殺され同じくらいの景気になるのではないかと話している。
		製造業（印刷・同関連業）	前は、アベノミクスも地方にやや浸透し始めていると感じたが、今年になり、4月からの消費税アップの影響か、中小零細企業においては、明るい話は聞かれなくなった。新聞紙上では、大企業のベースアップ満額回答の記事が一面を飾るが、ますます格差社会になってきた。
		製造業（印刷・同関連業）	人口減、IT化の進展で、アナログでの印刷の需要は減少し続けている。設備の更新などによる生産性の向上による単価の切り下げも限界に達し、生産性の向上に伴わない価格の切り下げにより、受注の確保を図るしかなくなっている。
		製造業（化学工業）	エレクトロニクス関連、自動車関連顧客とも需要増減の動き無し。
		製造業（一般機械器具）	新たな取引先より見積もりがあったが安い。現在もらっている所と同じに見積もりをしたが、注文がない。
		製造業（電気機械器具）	受注減による人員体制の見直し対応を継続中である。
		製造業（印刷・同関連業）	現状維持を保つことがとても大変です。
サービス業（コンサルティング業）	雰囲気は若干の明るさを感じますが景気が良くなったかと問われれば変化なしです。		
や や 悪 く な っ て い る	家計	和食食堂	若干売上げが減少している。
		ラーメン店	降雪の影響で売上げ激減です。皆さん外出を控え、スーパーさんの陳列台が空になるほど買いためされたようで、消費しきるまで外食業は苦境を強いられそうです。
		旅行代理店	4月から消費税が8%になる。お金を出したくないとの考えがある。住建など、建設業は忙しそうだが、消費者の財布は、税が上がる前に生活必需品だけは買っておこうとの考えで消費は伸びているが、先行き不安が残る様子です。観光客は減少し、キャンセルもあります。
		タクシー会社	25年度決算を迎え、前年対比で厳しい状況。
		日本料理店	景気もありますが、週末の天気（雪）の影響が出た。
		ゲームセンター	1月は毎年並の売上げでしたが、2月は非常に悪くトータルで考えると下降傾向だと思われます。
		住宅販売会社	年明け以降、徐々に集客が落ちている。
	企業	製造業（金属製品）	年度末近くとなり、官用部品等は納入を待つばかりとなった。新年度分の製作が開始されるまでは少々低迷期に入る。
悪	家計	和食レストラン	固定費（電気、税金、水道、その他）が上がっているために、外食が遠のいているのでは。
		クリーニング店	増税前のためか、出費を控えている感じがある。

Ⅲ 景気の判断コメント — 2 景気の先行き判断コメント

(1) 県北地域 【先行き】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	企業	製造業（電気機械器具）	現在の増産が売上げに更に反映され、利益が上がるが見込まれる。また、例年よりも高い賞与支給が推測されている。
		運輸業	消費税増税の影響があると思うが、各業者の受注状況から見て、消費税増税後もまだ勢いはあると思います。
やや良くなっている	家計	スーパー	売れるから作る、作るから客数が多くなる好循環。
		スーパー	4月初旬は消費税分の減少があると思うが、下旬には回復すると考えられる。
		小売業（弁当・惣菜店）	消費税前の伸びもあるのだろうが、その後も落ち込みがないのではと思う。
		小売業（時計）	相対的なムードで（消費税値上げの関係か）3月までは順調と思われる。4月、5月が気がかりではあるが、高額品でなければ3%の値上げはそんなに不安材料ではない。
	企業	製造業（電気機械器具）	今春から夏場に向けて仕事の山積みも増えて来る見通しです。
		製造業（電気機械器具）	取引先の来年度の生産計画をみると、今年度よりもアップする。
雇用	公共職業安定所	新規求人、求職の状況では、改善してきた感があり、周辺企業に現況を聞くと、まだ、先の見込みが読めず厳しいとの声も聞かれるところではあるものの、状況的には、消費税増税もあり、依然厳しいとの企業もあるが、全体としては、やや良くなる気配がある。	
変わらない	家計	農産物直売所	当地は観光地であり、震災以来客足の伸びが悪い。
		小売業（酒類）	年度末になり、地元大手企業、社員の方々が県外への赴任が多い。給与が上がっている話も聞かれない。
		小売業（水産物）	4月からの消費税8%の反応がどうなるかで何とも言えないが、購買意欲が落ちてしまうのではないかと心配。
		スナック	景気の見通しが不安定である。お金を使うのを控えている人が多いと思う。
		観光型ホテル	やはり4月からの消費税の増税で買い物などを控えると思われる。
		ゴルフ場	消費税が上がるために、表示価格が上がるから見た目が高くなったイメージがついてしまう。
		ボウリング場	値上げをする分、ゲーム数を考えプレーするお客様が増えるのではないかと思います。
	企業	林業関係者	変わらなければ良いと思いますが、消費税導入で良くも悪くも不安である。
		水産業関係者	消費税率の変更などで動きはあるが大きな変化は見られないと思う。
		製造業（精密機器）	4、5月は通年忙しくない月である。
		製造業（製缶）	仕事量が増えても受注額が前半より下がる。
		製造業（電気機械器具）	消費税8%に変更になることがどのように影響されるか、微妙なところである。
		製造業（電気機械器具）	消費税増税前の駆け込み需要等も無いので、今後も当分変わる様子は無い。
		製造業（輸送用機械器具）	4月以降、消費税アップに伴う買い控えによる生産調整も見当たらず、大きな変化はない状況。
		建設業	消費税率上昇の反動がどの程度になるか予測が難しい。
		金融業	中小企業経営者からは、依然として先行き不透明との意見が多く、地域経済が活性化するには、まだまだ時間がかかると思われる。
		不動産業	一部では、落ち込みの底打ちや上向きの兆しが見られるとのことであるが、当社事業においては、回復とまでは至らないと思われる。また、資材高騰や労務不足は解消される見込みがなく、新規事業化が難しい。
		運輸附帯サービス業	メーカーからの受注業種が公共製品（エレベーター、交通制御装置）が主流のため、期初予算ありきの計画であることから、動きが全く鈍い。
		雇用	求人開拓員
やや悪くなっている	家計	商店街代表者	年度末の集中も終わり、消費税もアップしてしまうから、景気はやや悪くなっていくと考える。
		コンビニエンスストア	消費税の増税の影響が心配。心理的な消費の冷え込みの可能性があるので。
		衣料品販売店	よほど必要でないと買わない傾向が、これからも続くでしょう。
		タクシー運転手	企業合併等による人件費の削減。超高齢化社会、少子化。
		タクシー運転手	消費税も上がってなんでも割高になったという感覚が、消費行動を鈍化させるだろう。タクシー業界も例外ではなく、利用者は8%消費税にある程度慣れるまで売上げはやや落ち込むとみる。
		ドライブイン	平成26年度前半は駆け込みで消費があった分、反動で消費を抑えてきそう。

やや悪くなっている		ゴルフ場	4～6月の現在の予約ベースは、前年度比10ポイント相当落ちている。消費税の動向でゴルフプレーへの引き締めが懸念される。
	家計	レジャー施設	やはり、消費税の引き上げにより、購買意欲は低下すると想定される。
		ゴルフ場	消費税増税の影響が出てくると予想される。
		クリーニング店	今、客数が増えているのは、4年度の消費税8%の変更前の駆け込み消費ではないか。4年度に消費税が上がったあとは、落ち込む事が予想される。
		住宅販売会社	やはり増税の影響がもろに出てくると思われる。
		製造業（一般機械器具）	増税の影響が出てくると予想する。
	企業	製造業（電気機械器具）	現在のような状況は3月までであり、4月以降は作業量が急減する見込みである。
		製造業（電気機械器具）	消費税増税のための駆け込み需要の反動があると思う。
	雇用	学校就業関係者	消費税率が上がる影響が先行き不透明である。
	悪くなっている	家計	商店街代表者
コンビニエンスストア			4月に実施される消費税増税の影響で、生活雑貨やタバコなどを中心に買い控えが予想される。
小売業（工具）			消費税増税により、買い控えは必ず出ると思われる。
自動車販売店			4月を過ぎ、増税後の消費の冷え込みがかなりあると思われる。
居酒屋			宴会が少ない。
中国料理			消費税の増税で、税金分以外にも料金の値上げが加わり、お客様にとっては、支出部分がいづ増えると思います。外食などは控えられてしまうような気がします。増税での全体的な経費も増えるため、利益率も減少し、景気は悪くなると思います。
観光型ホテル			前年同期と比較し、予約が低調である。増税後でもあるため、景気は悪くなっていくと思われる。
企業		旅行代理店	消費税率の引き上げで、旅行やレジャーへの支出は減少すると思われる。
		情報通信業（情報サービス業）	駆け込み商談は多いものの、例年に比べ、次年度商談は少ない。消費税アップで、しばらくは景気が落ち込むのではないかと。
		雇用	求人広告

(2) 県央地域 【先行き】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	－	－	－
やや良くなっている	家計	都市型ホテル	先の予約も例年以上受注している。
		タクシー会社	現在状況より「柔らかに」景気上昇は進むものと考えています。東京オリンピック開催までの期間は、大きな景気減少はないものと思われませんが、4月よりの消費税導入により一時的に平行線になるものの景気上昇の波は続くものと判断しています。
		ゴルフ場	暖かくなりお客様からの予約申込が増加傾向を示し始めている。
		理・美容店	季節的なこともあり、忙しくなっているのではないかと思う。年配の方は定期的に来店していただけるが、相変わらず若い方は来店回数が減っているような気がする。カラーは2回に1回は自分でするようだ。
	企業	製造業(食料品)	天候の回復とともに良くなることを祈っている。
		製造業(金属製品)	現在は落ち着いているが、4月以降、夏頃にかけての引き合いが非常に多い。業界の供給力不足が目に見える。
		製造業(一般機械器具)	どうなるかは分からないけど、やや良くなるのでは。
		情報通信業(情報サービス業)	電気・ガス・水道など、多くの公共料金が4月から値上げされるが、これらによる景気への影響が懸念される。しかし3か月後は、改定消費税の影響から落ち着いてくる時期と思われ、また、決算では、業績好転企業が増加するとも言われており、設備投資等への取り組み増に期待したい。
		サービス業(コンサルト業)	検討や受注件数が増えている。
	雇用	人材派遣業	今後も受注が増えていくと思う。
学校就業関係者		学生向けの求人数は増加している。	
変わらない	家計	百貨店、総合スーパー	3か月先の6月は、クリアランスセールや中元商戦が始まる時期であり、それは毎年のことであるが、セール商品やギフトの需要は安定的に見込まれると思う。
		スーパー	増税による冷え込みも一段落するのではないか。
		コンビニエンスストア	3月度は、増税前のまとめ買いがあり、好景気。4月は反動があるものの、食品の動きは大きく変化しないため、景気は大きく良くも悪くもならない。生鮮品が総菜中心のコンビニにおいては、売上げを大きく下げる反動は少ないと思われる。
		旅行会社	4月からの景気が良くなることを期待しておりますが、問い合わせも例年並みです。
		レジャー施設	季節的な要因が除かれると、昨年とそう変わらない状況と予想される。
	企業	製造業(印刷・同関連業)	良くなる気配が感じられない。
		製造業(窯業・土石製品)	大型物件の工事が動き出した。
		運輸業(道路貨物運送業)	消費税増税の反動で貨物の動きは一時鈍くなるが、徐々に回復に向かっていると思われる。
		不動産業	4月で例年通り部屋探しは落ち着くので、この春に建築される多くの新築も含め、空室が多く予想され、慎重に選ぶ傾向になるとと思われる。
	雇用	公共職業安定所	当所独自調査結果から見ると、管内事業所における今後の見通しとしては、「好況～やや好況」が前年度比増加する一方、「不振～やや不振」がほとんど減少しない傾向である。消費税増税、電気料金の値上げ、円の相場等が業況に大きく影響を及ぼす要因となっており、好況感の一部の限定された範囲のものと思料される。
求人開拓員		来館者人数が男女ともに増加傾向にある(対前月比113%)。しかし、新規求職申込件数を見ると昨年同月比88%と減少傾向にある。雇用関係から見ると「やや良くなっている」。3か月先の景気についてですが、外的要因(ベースアップ/物価高騰/消費税増税)で景気を大きく左右するのではないか。	
やや悪くなっている	家計	商店街代表者	4月以降、消費税が8%になり、消費が冷え込むのが心配です。
		百貨店、総合スーパー	増税後になるため、高額品やデイリー商品の動きがかなり鈍と思われる。
		スーパー	4、5月くらいまでは3月に買いだめた影響が残ると思う。その先は少しづつ慣れて、節約ムードも落ち着き、通常へ戻るのではないかと思う。
		スーパー	競合店の影響と消費税アップで、必要な物以外の購入はあまり見込めないのではないかと思います。
		スーパー	3月末頃は、増税前の買いだめで少し良くなるが、その後、消費が冷え込むと思う。
		コンビニエンスストア	増税による買い控えは確実にあると思います。本年は、増税前に少し買いだめ傾向はありますので、鮮度の長い加工食品、デイリー品(長鮮度品)、タバコ、酒類等の販売は下がると考えます。
		家電販売店	4月に入ると売上げは落ちこむと思う。消費税が上がる事で3月までに買う人が多いし、まだ買い替えの時ではなくても早めに買う人がいる。
		自動車販売店	4月から2～3か月は、消費が落ち、だいたい影響が出ると思われます。

やや悪くなっている	農産物直売所	消費税導入でロコミで「食費しか切り詰める所がない」という事が多く聞かれる。	
	専門スーパー	消費税増税の影響が残っており、また買いだめた商品もまだある状態なので、消費動向は鈍くなっていると思われる時期。夏から景気も回復してくるかもしれない。	
	レストラン	消費税の問題で消費者の動きが読めない。	
	レストラン	消費税率アップにより、外食する機会が少なくなるのではないと思われる。価格アップの要因もあると思われる。	
	割烹料理店	やはり、消費税8%は、何においてもきつと思います。	
	観光型ホテル	消費税増税が現実的なものになり、マスコミ等の話題も増えて消費マインドが下がるのではないか。	
	タクシー運転手	このところ客単価や利益率は減少傾向にあり、消費税3%アップに伴い、3か月先もこの傾向は続くと思われるので、景気はやや悪くなると思う。	
	タクシー会社	やはり消費税増税に伴う影響が懸念される。	
	ドライブイン	消費税が8%になりますので、客単価がますます低くなるように思います。本音は少しずつでも、せめて前年の売上げ確保はしたいと思います。	
	観光名所	消費税増税することで企業の賃金増加を促す目的もあるだろうが、依然、中小企業には従業員の給料額を上げるだけの原資がなく、上げることを渋る事が予想される。そのため、4月からの3か月間は値上げというイメージからも消費は慎重になり、景気はより一層悪くなると考える。陶器に関しては値下げを試みるなど、経営努力で横ばいを保つのではないか。	
	レジャー施設	入場者は回復傾向にあり、伸びてきているが、消費税改正により改正後3か月間ぐらいの影響は免れないと思われる。特にお土産品の売上げの減少が懸念される。	
	理・美容店	消費税3%UPでダウンするかも？	
	建築設計事務所	消費税引き上げも落ち着き、景気も冷え込む傾向と思われる。	
	住宅販売会社	いよいよ消費税増税となり、激減が見込まれる。	
企業	農業関係者	消費税増税により、春の生産資材の駆け込み需要があるため、増税後は購買力が落ちると懸念される。	
	製造業(食料品)	消費税増税による景況感の悪化がある。	
	製造業(精密機械器具)	どうしても、年に一度の決算期月の売上ピークと比較されるので、やや悪くなっているか、悪くなっている、となってしまいます。	
	金融業	消費税増税前の駆け込み需要の反動が懸念される。	
	サービス業(広告業)	増税によって消費は相当落ち込み、あきらめムードの中で宣伝広告を控える様子が伺える。	
家計	商店街代表者	駆け込み需要があった分、4月以降はしばらくは低調ではないかと思えます。	
	スーパー	かつて、消費税が3から5%に上がったときに小売業の売上は15%程度落ち込んだため、同じような状況になると思われる。	
悪くなっている	企業	製造業(印刷・同関連業)	3月だけは駆け込み需要で期待できそうだが、増税に合わせ材料費の高騰も避けられないので、顧客からの発注量が削減されることが予想される。
	雇用	求人広告	消費税のアップによる影響は避けられない。

(3) 鹿行地域 【先行き】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	－	－	－
やや良くなっている	家計	商店街代表者	円安なので輸出が伸び、他の会社の景気が良くなって、ベースアップなり、景気が良くなっていくのでは。テレビのニュースでも景気がいいとっています。
		ゴルフ場	消費税が5%から8%に変わり、料金が高く見えてしまい、予約推移が悪い。お客様が増えなければ売上げが上がらないため、料金は下がっていく。
	企業	農業関係者	今後、景気が上向いている状況が続けば、やや良くなってくるのではないかと。ただし、燃料費等の資材費の高騰が今後心配される。
	雇用	人材派遣業	多分消費税の駆け込み後も大きな変化はないと思うし、ないことを願う。したがって願いを込めて「やや良くなっている」に○をしました。
変わらない	家計	小売業（菓子販売店）	4月から消費税が上がるのはマイナス要因であろうが、当店は和菓子中心なので、特に変化はないと思われる。
		衣料品販売店	衣料品という業種から、消費を控える方がいると思います。
		レストラン	税が上がり一時物を買うのを控える事になると思います。なので、変わらない。
		観光型ホテル	宿泊予約数を見ると、変わりません。
		タクシー運転手	車内で雑談等するが、近隣の企業では良い話が聞かれない。また、4月一杯で1企業が工場閉鎖するとのこと。
		ドライブイン	春の行楽シーズンに入るが、増税の影響が心配されるため楽観的な見方ができない。
		理・美容店	明らかに増税の影響を感じます。増税という名の値上げの料金改定が増税分を上回っているのではないかと、支払に負担を感じています。(単に3%分を上げているわけではなく、値上げの口実になっている等)
		住宅販売会社	住宅の場合、すでに8%契約で動いているので、4月以降も変化はないと思われる。
	住宅販売会社	生活必需品までもが、原材料の価格高騰で、あらゆる物が値上げされている現実に追い打ちで増税。電気、ガス料金までもが値上げが毎月続いている。その状況下で、とくに中小企業の社員は、給料が上がるところか、生活費としての出費が増えてしまっている。その為にマイホームなどの購買意欲は下がっているように感じられる。	
	企業	製造業（食料品）	陽気が良くなっても景気は変わらず。
製造業（食料品）		4月からの消費税アップの影響が出てくる。	
製造業（輸送用機械器具）		消費税駆け込み受注が極端に下降しないとした場合、日本国内消費材（建材部品など）は、今後も期待できる。	
製造業（化学工業）		価格転嫁への交渉を継続して行くしかないが、状況は厳しく、引き続き利益確保が難しい状況。	
建設業		人員不足が改善されなければ、景気上昇の足がかりにはならないと思われます。	
製造業（鉄鋼業）		急な状況の変化が起こる兆候はない。	
運輸業（道路貨物運送業）		新年度は消費税が上がり、悪くなるという人もいるが、変わらないでいくと思う。	
保険業		3月末までの公共工事の終了。T P P 交渉の行方による農産物、米の価格不安がある。	
雇用	民間職業紹介業	現状が続くように思われる。	
	公共職業安定所	消費税率も上がり、景気の回復基調も鈍化すると思われる。	
	就職支援センター	今後積極的に求人を増やすような企業はまだまだ少なく、多くの企業で現状維持の傾向が強い。	
やや悪くなっている	家計	小売業（食品）	増税後の数か月は、増税前の買い占めで、今後の3か月先の伸びは期待できないと思う。
		商店街代表者	増税による需要の冷え込みは厳しいものがあると思う。物価が上昇し、消費に与える影響は大きいと思う。
		スーパー	4月より消費税が上がるので、売上げが少なくなる。
		スーパー	消費税アップの前には需要が上がりますが、アップした後は下がると予想されるため、3月は、客単価、買い上げ率ともアップするが、4月は落ち込む予想です。
		コンビニエンスストア	増税実施後の反動は大きいと思われる。買い置きした量が多いほど、4月以降しばらくは財布の紐がきつくなると考えられます。
		家電販売店	増税により、景気はやや悪くなっていくと判断しました。
		農産物直売所	消費税が8%となり、消費が一時的でも落ち込むことが予想される。
		小売業（酒類）	増税後で、多少冷めて落ち込んでいると思われる。

やや悪くなっている	家計	小売業（薬品店）	消費税が上がり、しかも給料のベースアップは一部の大手企業なので、消費が上がるとは思えない。
		小売業（金物店）	消費税の関係で3月までに買いが入るので、4月からは受注が減少するのではないかと思う。
		小売業（書店）	駆け込み消費が落ち着くと、変わらないか、やや悪くなっていると予想されます。
		洋食食堂	4月の消費税増税の影響が現れ、来店客の減少になると思う。
		割烹料理店	消費税の影響はあると思う。宴会の客単価や予算は変わらないと思うので、増税分が転嫁できず、売上げに食い込んでくると思われる。
		タクシー運転手	消費税増税に伴い、客足が極端に少なくなると思う。
		タクシー運転手	4月に、消費税8%導入により、タクシー料金も値上げになり、しばらくの間タクシー離れがあると思われる。
		レジャー施設	消費税率のアップによる可処分所得の減少（所得がほぼ現行水準として）により、特にレジャー関連への支出が減少するものと想定される。
		理・美容店	消費税の増税でお客様の財布の紐が固くなっていると思う。
		クリーニング店	消費税増税のために3月中に買いだめなどをしたので、4月からは反動で暇になる。
企業	室内装飾業	4月からの消費税増税で物価が上がり、消費が落ち込むと思います。又、企業の一部では給与の若干のアップもあるけど、ごく普通の労働者には無縁の話で逆に増税で賃金及び工事単価などが下げられるように向いて行くのではないだろうか。	
	製造業（食料品）	原材料の高騰続きで価格も上げられず、消費税アップ時期も迫っており、一度に価格の値上げも考えていますが、売上減少が怖い。便乗値上げと見られると信用問題となりかねない。厳しさは、まだまだ続くでしょう。	
	建設業	駆け込み需要の反動で新築着工件数が減る。	
	金融業	大企業と比較して、競争力の低い中小零細企業の経営者及び従業員は、将来に不安を感じていると思われる。今後、消費税増税や円高による物価上昇等による心理的不安から消費を控える事が懸念され、景気はやや悪くなっていく傾向にあると判断される。	
	不動産業	震災の仕事はまだまだ入札は多いと思いますが、一般にはだいぶ悪くなると思います。また、消費税の影響が大きいと思います。建築資材等の値上がりがどのくらいいいのかが心配です。	
雇用	学校就職関係者	4月から消費税が上がる話題で、景気の動向としてはやや悪くなるのではないか。	
悪くなっている	家計	スーパー	増税後となるため、景気は悪くなると考えられる。
		コンビニエンスストア	消費増税の影響は、小売業にとっては大きなダメージとなる。過去の増税時も同様であり、今回も駆け込み需要の反動は大きく出ると考えます。
		日本料理店	景気が良くなっていると感じないのに、増税が4月にあるので、落ち込むと思います。
		観光型ホテル	駆け込み需要が終わり、4月以降は全ての業種で落ち込みを覚悟しなければならないと考えられる。
		タクシー運転手	当地域周辺での良くなる材料と環境が見当たらない。
企業	製造業（食料品）	値下げの要求や、原材料の値上げがある。	
	運輸業（道路貨物運送業）	新年度4月からの増税により、しばらくは様子を見なければならぬ。6月まで貨物の荷動きは悪くなると考えられる。	
	サービス業	アベノミクスという経済政策は短期的なカンフル剤に過ぎず、消費税増税による消費意欲の低下は限定的と考えるも、抜本的な総需要拡大、輸出ドライブシフトというような生産拡大には結びつかず、息切れしているのではと考える。また円安誘導による外需拡大を意図しているが、昨今の外国情勢の不安定化は長期化すると考えており、景気の減速があると予想する。	

(4) 県南地域 【先行き】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	－	－	－
やや良くなっている	家計	農産物直売所	他県ナンバー客も土日は大変多くなっている。1回の買い物で一万円ほど買って行く。当然売上げも伸びている。
		タクシー運転手	電話先で元気がある人が増えた。声がでかい人も増えた。給料（ボーナスを含む）にプラスの変化があったのではないかと想像してしまう。
		ゴルフ場	予約が好調であることと、コンペ等の早期申し込みが増えている。消費税の増税があってもあまり変化がない。
	企業	建設業	3か月先は消費税が上がり、売上げが落ち込むと思われるが、公共工事の増加や、民間会社の設備投資などが見込まれるので、景気はやや良くなっていると思う。
	雇用	求人広告	正社員の採用が徐々に増えてきている。
求人開拓員		景気が良くなれば民間に人は流れる。役所の非正規が集まりにくくなっているということは確かだ。このまま変わらなければ景気はやや良くなっている。	
変わらない	家計	スーパー	消費税増税前の駆け込み需要で売れた商品の売れ行きが悪くなる可能性は高いが、その他は変化がないと思います。
		コンビニエンスストア	商品、サービスに対して、しっかりと価値を伝えることができれば、お客様の購入につながっている。
		旅行代理店	消費税増税などの不安もあり、景気が良くなっていくという見通しは厳しいと思う。
		タクシー運転手	4月1日以降の料金改定のために一時は減るが、あまり変わらない。
		タクシー運転手	個人所得増収が望めない。また、企業関係の接待等による交際費の削減を感じる。
		ボウリング場	昇級と増税のバランスシートをどう受け止められるか。
		住宅販売会社	もともと増税は織り込み済みなので、変化はないと思われる。
	企業	製造業（飲料）	特段これといった話がない。
		製造業（窯業・土石製品）	原材料費の値上げや、消費税増税により、一時的な停滞が予想される。
		製造業（一般機械器具）	変わるような材料が見当たらない。
		運輸業（倉庫業）	今後3か月先は、前年同様に期待したいが、増税の影響で動きが少ない可能性が出てくると思われる。
		金融業	消費税増税の反動が心配される。実感として所得の増加が感じられない。
	雇用	人材派遣業	3か月程度では現状とあまり変わらないのでは。
やや悪くなっている	家計	小売業（酒類）	世界情勢も芳しくないし、気候もおかしく、これからが不安材料のように思われます。
		スーパー	増税の影響がどの程度あるか不透明である。
		スーパー	消費税アップの影響があると思われる。
		スーパー	4月の8%消費税増税に伴い、向こう3か月は買い控えが起きると考える。
		コンビニエンスストア	4月度の消費税増が消費者の心理を冷やすと考えられる。3月にまとめ買いが発生し、今後3か月間は買い控えが起きる。
		小売業（生花店）	消費増税の影響が多いものと思います。
		専門スーパー	消費税の関係で悪くなっていると思われれます。
		ガソリンスタンド	消費税アップによる購買意欲の減退が懸念される。
		寿司店	お客様の話がたまにあります。特に建設関係、車の仕事に関わる人たちの忙しい、手が回らないなどという話を耳にします。
		都市型ホテル	お客様とのセールス時にも増税の話題が出ており、3月までの駆け込みで購入商品や時期的なものはあるが、料金も上げざるを得ないので、より安価なものを選ばれると思われ、景気は悪くなると思われる。
		都市型ホテル	予約状況については変化はないが、4月からの消費税率が変更のためか、単価を抑える傾向がみられる。
		タクシー運転手	消費税が8%になり、一時お客様が離れると考えられる。
タクシー運転手	消費税の増税で一時的に下降すると考えられる。		

やや悪くなっている	家計	ゴルフ場	通常であればシーズ的に良い方向へ動いていく時期だが、今回は4月以降の消費税引き上げに伴いプレー代、その他レストランメニュー等も今まで内税表示にしていたものを外税に直し、一見安くなったように見えるが税込みで説明すると高くなっている状態で、やはり集客に大きく影響している。
		理・美容店	新年度での人の入れ替えで、お客様も異動する人が出てくる。来なくなるお客様がいるが、その分新規のお客様が来るとは思えない。消費税も上がるし、その分値段を上げるわけにはいかないし、悪くなる一方です。
	企業	製造業（食料品）	消費税の値上げによる原料費の値上がりとそれを価格に転嫁できない現在の状況からして良くなるとは思えない。
		製造業（食料品）	消費税の3%アップは、大した金額ではないと思いますが、地方での景気は上がらず、心理的な消費の落ち込みは多少なりあると思います。
		建設業	まず、先月、先々月からお客様の動向、判断から予想してもまず、良くなるとは思えない。まず私たちの周囲の友人、知人そして役所の幹部職員から、会社の中堅社員からの様子をうかがってもいい返事無し。ただし、役所での最近の主な発注は、建築関連より、土木工事の道路の4車線化工事が市町村道あちこちで数多く建設の真っ最中の現場を見かけます。景気の先行をしているのか。
		建設業	4月以降の受注及びその打ち合わせがかなり少ない。
		建設業（設備工事業）	消費税8%後のため、やや悪くなっていると判断した。
		不動産業	4月1日以降の増税後の反動として、やや悪くなると思う。ただし、これに対応した対策をとっている会社と無対応の会社間の格差は更に広がってくると思われる。全体的な本需要には至らないと思う。
	雇用	学校就職関係者	消費税増税により消費は落ち込むと思う。
	悪くなっている	家計	和食食堂
洋食食堂			市内全体が古い町並みで、おしゃれな店の出店もなく、なんとなく雰囲気はぱっとせず、駅前の人通りもない。お金を使ってもらえる楽しさ、おしゃれな感じを出せません。
企業		製造業（窯業・土石製品）	消費税他の値上がり、負担増があり景気が良くなるとは思えない。
		製造業（非鉄金属）	大手自動車メーカーの3か月インフォメーションでは、3月をピークに生産量は減少。直近の発注量が3か月前のインフォメーション上からも減少している。一方収益面では、4月以降のコスト低減要請強く厳しい経営環境が予想される。

(5) 県西地域 【先行き】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	-	-	-
やや良くなっている	家計	農産物直売所	客企業で春闘のベースアップが出ているので、良くなると思います。客単価が上がっていることから、感じます。
		タクシー運転手	希望的観測である。
		日本料理店	消費税アップが懸念されますが、都心部の景気にあやかりたい期待を込めて。
		理・美容店	消費税がどう反映するかによると思う。当店は、料金に当然上乗せをします。客も、こちらの考えを理解してくれていると思う。4月をうまく切り抜ければ増税もそんなに影響はないと思う。
	企業	製造業（窯業・土石製品）	5月、6月で良くなる。
		製造業（金属製品）	大手企業の好決算後の発注が徐々に活発化してくると思われる。
変わらない	家計	スーパー	お客様のお声（言葉）で（変わらないと）感じる。
		専門スーパー	一時的に消費増税の反動で、消費の冷え込みはあるものの、限定的。大きく景気が上昇する見込みの内容は発生しないと思われる。
		タクシー運転手	周りで景気の良い話がないので、変わらないと思う。
		ドライブイン	4月の消費税増税の影響が懸念されるが、景気の落込みが無いことを祈るばかりである。
		ゴルフ場	予約状況にて、変わらないと判断した。
		建築設計事務所	常連客の来館回数が減ってきている。
	企業	農業関係者	青果物の価格高騰など極端な変化がないと変化しない。
		製造業（食料品）	消費税のアップの効果が微妙だが、現在の感じから現状程度は維持できるように感じる。
		製造業（食料品）	ここ3か月くらいは、多少の変動はありながらも、季節要因を除くと売上げ単価とも、大きく変動はなく、横ばい状態が続いている。
		製造業（印刷・同関連業）	消費税アップ後は地方はどうなるのか。3%アップを零細企業は商品に上乗せできるのか。値引きさせられても、8%は納めなくてはならない。分かってもらえるお客様ばかりはいない。
		製造業（化学工業）	国内需要は維持が精一杯と思われる。
		製造業（一般機械器具）	売上げが同じなので、良いのか悪いのかわからない。
		製造業（電気機械器具）	長期的な受注動向の把握が難しく、人員見直し対応を継続予定である。
		金融業	消費税増税に伴い一般消費者の買い控えなどによる消費の落込みが懸念される。また、給与所得者の多くが給与面で景気回復を実感できていない。
		不動産業	消費税増税で一時的には取引は鈍るとされる。
		製造業（印刷・同関連業）	円安でなんとかやっているようです。
	サービス業（コンサルト業）	消費税が増税され8%になることを考えると良くて現状維持でありむしろ悪化するのではないかと思います。	
	雇用	人材派遣業	10月頃まで忙しいと思います。
		公共職業安定所	円安の恩恵を受けて、輸出企業を中心に需要がある。また、消費増税前の駆け込み需要により好調であるが、自動車販売等は、これから決算時期は売上げ好調になるにも関わらず、3月までの納期が間に合わないために売上げが減少しているとのことであり、消費の面で不安材料がある。
		求人開拓員	求人は増えているが、求職者の求人とは少し違う。
やや悪くなっている	家計	商店街代表者	店のスタッフに聞いても、ほとんどの人が消費税が上がったら買い控えると答える。
		スーパー	4月1日以降の増税後の反動が心配である。
		コンビニエンスストア	増税後となるので、安売りセールに特化した動きが強くなると思われる。そうすると、スーパーが有利となり、コンビニは差別化として、プライベートブランド商品を強化していく必要がある。
		衣料品販売店	増税後はしばらく厳しいと思います。
		ガソリンスタンド	やはり、消費税増税後は、停滞するのではないのでしょうか。
		和食食堂	消費税問題もあり、客単価や利益率が減少傾向にあると思うので、やや悪くなってくる。
和食レストラン	消費税が上がるために、前もって買える物を先に買うので、外食は悪くなると思う。		

やや悪くなっている	家計	都市型ホテル	ホテルでの飲食等は高いイメージがあると思います。増税後、消費者の財布の紐が固くなるのでは…と不安です。客単価もさることながら利用頻度が減少してしまう傾向あり。
		ビジネスホテル	消費税のからみで、企業の設備投資が一時的に様子見状態になるのではないかと。
		タクシー会社	お客様のタクシー利用度が増えてくる傾向は見えてこない。
		ドライブイン	増税後なので、買い控えがあるのではないかと。
		ゴルフ場	消費税の引き上げによる駆け込み需要（3月まで）の反動もあり、いったん小康状態になると予測している。
		ゲームセンター	3月は徐々に子どもや家族連れを中心に増えてくるはずですが、今のところその様子も見られません。3月がこの状態だと今後お客様が増えるようには考えられません。
		理・美容店	消費税が上がるので、しばらくは落ち着くまでうちの職種は節約の対象だと思う。
	企業	住宅販売会社	増税の影響が顕著に出る。
		農業関係者	今回の2月の降雪により、ハウスがつぶされ収穫不能の場所もあり、撤去の費用や新しいハウス資材等で農産物の出荷が遅れる。
		製造業（印刷・同関連業）	消費税の値上げはかなりダメージになるのではないだろうか。
建設業		消費増税が終わり、その反動があるのではと思う。	
雇用	求人広告	採用についてやや悲観的な意見が多いように感じる。クライアントから予算縮小の話が出るようになった。ただ長期的な縮小ではなく、今後の景気が不安定なので採用の様子も見合わせるという楽観的な話が多い。	
	学校就職関係者	材料費や経費の高騰が続き、物流は減退すると思われる。	
悪くなっている	家計	商店街代表者	消費税増税に伴い、紳士服紳士用品の売上げは今までにない悪さを予想する。
		コンビニエンスストア	消費増税前の特需のあおりが続いていることが予想され、増税に対して所得が改善される情報も少なく、節約志向に向かうと思われる。
		家電販売店	増税による買い控えが予想される。
		和食食堂	やはり、消費増税のため、財布の紐を固くするのではないかと想像します。
		飲食業	消費税の増税前は駆け込み需要が期待できるが4～5月はその反動で多くの業種で業績が落ち込むと予想します。
		旅行代理店	4月から消費税8%になる影響で、物価がすべて値上げになるだろう。毎年4月～11月がピークになるが、今年はどこまで落ちるかわからない。しっかり営業してなるべく利益を確保したい。何か良くなる要因が見つかる信じ、お客様回りをしたい。
		クリーニング店	4月より消費税アップの影響が考えられる。
企業	製造業（窯業・土石製品）	今月は超多忙受注ですが、いつまでも続きません。断ったお得意先が他へ仕入れ先を替えたり、仕事を先食いしているのが、悪くなります。忙しいときにこそ仕事が少なくなる、繁昌しなくなる芽が芽生えます。仕事がないのはもちろんのこと、多すぎても頭が痛い今日この頃です。	

Ⅲ 景気の判断コメント — 3 その他の意見

(1) 県北地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	物づくりの海外移転が顕著。非正規雇用者が近在にたくさんいる。未婚者が多くなっている。
	商店街代表者	周辺にマンションの計画があったり、スーパーマーケットの計画があったりと、地域としては今後賑わいが感じられる。
	スーパー	駆け込みの動きは全体的に見られる。建築関係は、工事日程など今までどおりにはいかず、4月以降も発注しても日程が決まらない事項が増える傾向。
	衣料品販売店	今年になって、特に落ち込みがひどい。
	小売業（弁当・惣菜店）	2月の大雪で、数日間の売上げ減がけっこう大きい。
	小売業（酒類）	年金受給者の客層に力を入れている飲食店は盛況である。
	小売業（水産物）	消費税引き上げ前にまとめ買いを…と話しているのを良く聞く。
	小売業（時計）	1万円～2万円の商品は簡単に決めて購入している。
	居酒屋	人通りが少ない。
	スナック	エコカーの売上げの多さを感じる。
	中国料理	増税前に買いためや高額な物の買い物など、今のうちに、という話を良く聞きます。いろいろな業種の販売店さんたちも4月からのお客様たちの動きを心配しています。
	観光型ホテル	断続的な不景気が続いていると思われる。
	タクシー運転手	4月から消費税が3%アップし、8%になる。懐具合に余裕があれば駆け込み消費もできるが、私のような低所得者は、ただ指をくわえているだけだ。物価も上がってきていて、更に消費税アップとなれば、安月給取りには、それは経済的に一層不安を募らせることになり、将来への明るい展望はない。
	ゴルフ場	国家予算、県予算、市予算に明るさを感じている反面、経済の再生についての不安などが感じられる。大雪被害で野菜などの高騰懸念の声が聞かれる。県民一人ひとりが地域の動向に関心が高まっている。
	レジャー施設	2月の大雪の影響で、屋外施設の営業をしている企業は例年以上に厳しい状況であります。
	ゴルフ場	大雪の影響で、お客様の受入れができない日が多くあった。
	住宅販売会社	地元大手企業のベアが決まったことにより、企業城下町である近隣に良い影響が出ることを期待している。
企業	林業関係者	全体的に雪が積もり、観光客等が減少した。雪により農家等も作付け障害が出て、山も北向きなどは雪が残っているところもあり、支障が出ている。
	製造業（電気機械器具）	日用品や食料品等が値上がりし、大手企業はベア実施などで賃金上昇の動きが出ており、デフレ解消の動きが出ているのは良いことである。ただ、中小企業が賃金上昇するかは微妙と思う。大手と中小の格差がますます拡大すると思う。
	製造業（電気機械器具）	増税に向けて、消費者の購買意欲が増しているように感じられる。増税開始後、景気にどのような影響をもたらすのかが不安である。
	製造業（電気機械器具）	土木、建設業は非常に忙しそうに感じる。製造業の同業他社もけっこう忙しいようで、外注先を探してもやってくれる会社が見つからない。
	製造業（電気機械器具）	事業継続等の関連からか、他方面からの製作依頼の案件がある。
	運輸業	太陽光パネルの輸送依頼が最近多い。
	金融業	遊休不動産を環境エネルギー事業用地として活用する先が増えている。一方で、不動産取引は停滞している。
	運輸附帯サービス業	人の動き（主旨として、消費・購買での動きに置き換えた場合）、量販店と個人商店との格差（隔たり）が著しく進んでいる。地域（ピンポイント）限定の活性化となっている。
雇用	求人広告	4月以降の不安の声を多く耳にする。サービス業界は特に懸念している傾向にある。
	学校就業関係者	親類や身の回りの知人で、住宅や自動車の購入をする人が沢山いる。消費税率が上がる影響のようである。駆け込み需要で一時的かも知れないが景気は上向いている感がある。
	求人開拓員	求職者の中でも、自分の希望に合わなければ辞退する人がいるという事は、最低限の生活が出来る為、景気が悪いといっても、感じない人もいます。

(2) 県央地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	価格競争が非常に激しく、お客様は低単価の商品でも、他と比べて購入している様子がわかります。同業他社との価格競争は限界があり、商品構成の差別化を図りたいと思っておりますが、仕入先も長引く不況で淘汰され少なくなってしまう、難しいのが現状です。
	商店街代表者	2月3月は、消費増税の駆け込みで、例年4月以降の新年度から受注する納品物が前倒しで、受注になっているので忙しいが、4月以降の受注量と消費税における消費の冷え込み、消費税アップの価格への転嫁が心配です。
	百貨店、総合スーパー	高額商品を前々から欲しいと思っていたお客様には今回の増税は背中を押す形となっている。
	スーパー	食品は消費増税に加えて、値上げ品が多く見られる。世界的な需要に加えて、為替の影響で、輸入品等高くなっている。家庭へも影響が出てくると思う。チラシの目玉品などの効果は限定的なものになり、大きな効果は薄れている。
	スーパー	紙類の売上げが好調に推移している。
	コンビニエンスストア	介護関連事業において、仕事量は増えている一方、人員不足は否めない状況。増税前でタバコのカートン購入は少しずつ増えてきています。白物家電コーナーは家族連れでにぎわっており、新聞上の数字だけでなく、お客様の反応は大きいと考えます。
	コンビニエンスストア	車や家電などを買い換えたお客様が増えてきている。
	農産物直売所	農家の方は、雪害により金がかかるという話だ。
	専門スーパー	家のリフォーム（台所・お風呂・トイレ）、外周りの工事が大盛況で間に合わない状態。消費税が3%アップになるのに、一番影響が出ている。
	スーパー	消費税増税前に何を買いだめすべきか皆で話し合っているが、これといったものが出てこない。最近では無理して買いだめする必要もないという感じになってきた。
	レストラン	消費税がどのような影響になるのか気になる。
	レストラン	4月からの増税で販売価格のことを耳にすることが多くなった。
	割烹料理店	消費税8%になるということで、「買い控え」などではなく、我が家もそうなのですが、「買わない」という方向に向かっている気がします。
	観光型ホテル	異常気象などの影響で外出する機会が減ったことがレジャー産業には影響した。
	タクシー運転手	給与などが上がっている様子は感じられない。輸入する商品が値上がりしているため、生活がより一層厳しくなっている気がする。
	タクシー会社	近距離のお客様が多いが、大工町からのタクシー利用が増えた感じがする。
	タクシー会社	消費税の導入が4月1日より開始されますが、さまざまな業種のお客様や一般消費者の方々のご意見を聞くところ、消費税3%導入は納得感をもって大きな消費後退にはならないと感じています。しかし、消耗品等、設備投資は今月中に行い、少しでも経費節減を図るために動いているようであります。
	観光名所	景気の不安から投機へ流れる傾向があるが、ビットコインの問題のように不安定さが露呈しているように感じる。
	レジャー施設	4月からの消費税改定に伴い、料金の問い合わせが相次いでいる。増税分は値上げの予定でいるため改定後の予約の減少を懸念している。
	理・美容店	格差と感じる。収入が良い人は以前より購買意欲が有り、少ない人は変わらない。
	建築設計事務所	設計業界も高齢化が進んでいる。若手育成が必要とは思いますが求人にも苦戦している。
	住宅販売会社	集客が増えない。この状況はしばらく続きそう。
	企業	製造業(食料品)
製造業(一般機械器具)		先般インドへ行ってきました。日本企業の進出、そしてこれからのインドを見ますと、ますます海外移転が増えてきます。ものづくりから建設、銀行まで行ってます。日本経済どうなるのでしょうか。
製造業(精密機械器具)		日本で購入し、海外工場を使う為の商品問い合わせや、引き合い・受注が増えています。又、国内工場現場ラインで使う、品質管理用商品の受注が増加傾向です。
建設業		個々の必要なものに目を向け、ムードに流されない堅実な消費を感じる。日本の消費も成熟期に達したかと推察する。
運輸業(道路貨物運送業)		大規模な太陽光発電のパネル設置が多く見受けられる。
情報通信業(情報サービス業)		4月の改定消費税対策と思われるが、3月中の住宅新築がいたるところで見られる。自宅周辺でも、10指を下らない状況である。大きな買い物であり、このタイミングで新築を決断したと思われる。当然ながら建築業界に活性化が見られ、地域の景況感の向上に大いに貢献して頂いていると感じている。
金融業		商店街・飲食店街はイベント等を積極的に企画し、活性化に努力しているが、継続的な売上増加には至っていない状況にある。
サービス業(コンサルタント業)		市街化区域での土地の流動が減少しているように思われる。
雇用	求人広告	駆け込み需要のようなものは思った以上に感じない。自分自身も特に増税に関して先買いをしていない。
	公共職業安定所	様々な報道と同様、当所においても、建設業の人手不足傾向が見られる。建設業の事業拡大求人が目立つ中、建設業希望求職登録者が絶対的に少ない状況にある。建設業求人の増加に合わせて、保安の職業も人手不足の状態にある。
	求人開拓員	マスコミ等では大手企業のベースアップが話題になっております。茨城に多い中小企業のベースアップ。労働者全体の38%を占める非正規雇用(契約社員・派遣社員・パート)等のベースアップに不明な点が多いため。また、4月から消費税等の増加もあり、個人の消費が伸びないのではと思います。

(3) 鹿行地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	小売業（食品）	円安のため、輸入原料が3～5割ほど高値になり、増税と併せて、4月から製品の値上げがありそうです。景気は悪くなりそう。
	商店街代表者	飲食関係の2月の売上げ減少が大きかった。
	商店街代表者	最近道路工事が頻繁に行われており、建設関係の会社が景気が良くなっているのではないのでしょうか。2月、3月は道路工事が多いですね。
	スーパー	燃料が高止まりしているため、漁業者の景気が悪い。また、一般家庭の人の電気代や燃料代の負担が増えていると思う。
	スーパー	高校生のアルバイトが卒業後なかなか社員としての仕事が見つからない人がいる。社員としての仕事がない場合、使えるお金がアップしない。
	コンビニエンスストア	駆け込み需要は少ないと予測していたが、思っていた以上にたばこを中心とした需要があります。
	家電販売店	近所にメガソーラーの建設や新築物件が見られます。
	自動車販売店	震災関係の土木関係の仕事は、今年くらいまでは仕事量があると思うが、年末等はその反動がみられて下降するかもしれない。また、工場コンビナートでは、鹿島から撤退する企業があるので、雇用の面でも心配であります。
	小売業（菓子販売店）	買いだめ出来る商品は、増税前の今月中は売れている。
	小売業（金物店）	地元大手企業が合併し、会社経営方針が厳しくなりつつあります。発注の仕方が前と変わりつつあります。
	レストラン	物より、心の浄化、癒やしなどにお金を使うことが多い気がします。（旅行、エステ、美容など）
	洋食食堂	食材の値上がり止まらない。売価に転嫁できない分、利益の幅が減少している。お酒を飲んでの食事は減っているが、食事だけのお客様は堅調である。
	割烹料理店	知人が自動車部品工場に勤めているが、増税前の注文が多くて仕事が間に合わないという聞いて、一時的には忙しいようだ。
	日本料理店	近くのアウトレットに平日行きましたが、お客さんの入りは良くありませんでした。安いからといっても生活必需品以外はあまり景気が良くないのではと感じた。
	ドライブイン	この冬は、茨城の冬の味覚「干しいも」が例年以上に売り上げを伸ばしている。
	理・美容店	中古住宅の増加がお客様との会話の中で、話題になりました。住宅ローンの支払いが出来ずに自宅を手放す方が増えてしまっているということです。
	室内装飾業	2月から3月に入るとあちこちで恒例の道路補修工事が始まります。朝からの渋滞で嫌だねーと仕方なく停止したところ何気なく作業員の顔を覗くとご老体でした。こんなに朝からお仕事ご苦労様と頭が下がる思いで通り過ぎました。
	住宅販売会社	身の回りでは、やはり「自分たちの生活ベースで考えると、景気が良くなっているとは、まったく感じられない」という声が多い。逆に様々な物の値上げで生活が以前より大変になっている・・・と言う声が多数。
	企業	製造業（食料品）
製造業（食料品）		原料を厳選した品質にこだわった高級品もある程度売れてきている。
製造業（輸送用機械器具）		小規模企業（20人以下）には、給与引き上げは出来ないと思うが、ものづくり以外の会社は、円安差益など、利益が出ているために、景気よしと言える。輸入原材料を使ったものづくりの会社は素材価格上昇で苦しんでいるようだ。
建設業		消費税増税により、景気が良くなるというのだけれど…先行きの不安はあります。
製造業（鉄鋼業）		消費増税の影響がどの程度あるかによる。
運輸業（道路貨物運送業）		2月後半から借楽園梅まつりが始まり、県外からの観光客が増えてきているが、平日お土産を買う人はそれほど多くはないようである。大工町付近ももう少し人通りがあればと感じている。
保険業		学校跡地利用計画及び六次産業計画でさつまいもの加工会社の進出が決定し、今後の雇用が期待される。
不動産業		企業の人事異動が思った以上に少ないようです。
サービス業		北関東自動車道での物流の増加を感じます。しかし、原子力発電関連が動かねば、なかなか景気の底上げにはつながらないと思っています。
雇用		学校就職関係者
	就職支援センター	小売、流通業の出店が目につく。

(4) 県南地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	小売業（酒類）	これから梅まつり、桜まつりとありますが、天気次第で売れ行きが、人の出具合によって変わってくると思います。景気が盛り上がってくることを期待します。
	スーパー	2月下旬くらいから、米、水、紙といった保存のきく商品の動きが良い。
	コンビニエンスストア	4年度の増税を前に、カーテンや布団など、身の回りのちょっとした高い物の買い換えが発生。駆け込み需要は確実に発生している。
	小売業（生花店）	（都市部で）土地の売買が増えていると思われます。空き地の看板が少なくなってきた。
	農産物直売所	口コミで新規の客も増えています。当JAは直売所が7店舗ありますが、前年対比伸びております。
	専門スーパー	家庭の消耗品を中心に一人あたりの買い上げ点数及び単価が上がっています。
	和食食堂	客数微増、客単価ダウンはやはり、増税のことが影響していると思います。
	洋食食堂	世の中のニュース、景気ウォッチャーでは良くなっている様な結果が出ていますが、ぜんぜん回復している兆しはみられません。料理の金額をディスカウントしてくる方が2件ありまして、こちらも最低料金があるので予約はいただけませんでしたが、仕方ないです。
	寿司店	市場等でまとめ買いの人たちが出始めました。調味料、酒、保存可能なものが多く、4月からの消費税アップの影響だろう。
	都市型ホテル	景気の話は、やはり増税での消費者の動向が気になるところであり、話題も多くでている。業種によって違いがあると思われるが、既に婚礼は3月までの駆け込み需要があった。宿泊や忘年会などの宴会は、時期的なもので買いため、早期予約までは中々進んでいなかった。が、やはり増税分、安価な商品やプランに目を向ける消費者は少なくない。
	タクシー運転手	牛丼業界の値下げ競争が終焉を迎えるということをお客様から聞きました。そのお客様は最近はめっきりファミレスとのこと。また、タクシーを利用してパチンコなどの娯楽に行かれる方、携帯アプリのゲームなどで課金されるお客様が増えています。
	タクシー会社	4月からの消費税アップに向けて、駆け込み購入が増している。
	ゴルフ場	消費税の増税について、反応が強いかと思っただ、現状ではあまり話題に上ってこない。
	ゴルフ場	やはり消費税引き上げが大きく影響していると思われる。物品を販売している業界は、消費税増税前にストック買いが多く出ただろうが、サービス業に関してはそれが出来ないため、少し落ち着くまで出足は鈍るだろう。
	ボウリング場	ボウリング業界には勝ち組と負け組の格差が大きくなっている感じがします。
理・美容店	良い人は良いし、悪い人はもっと悪くなる。格差が開いてきていると思う。	
住宅販売会社	サービス業や製造業を中心にベアの話が出てきている。家計への波及によって景気全体が良くなると良いのだが。	
企業	製造業（食料品）	大型の商品は増税前でだいぶ売れているようですが、その反動がどうなるか。また、それが日常生活用品にも及ばないか心配です。
	製造業（窯業・土石製品）	当社は公共事業の比率が高いので事業増による恩恵は受けておりますが、これは当社だけでなく業界として良くなってきていることは事実ですが、いつまで続くのかが懸念されます。
	製造業（窯業・土石製品）	消費税増税により、一部日用品、食料品等の値上げもあり、可処分所得が減少する。3月までに買いため等が予想され、4月以降は一時的な景気後退があるのではないだろうか。
	製造業（非鉄金属）	消費税の価格転嫁は認められるが、国内自動車部品メーカーの競争激化に加えて、メーカーのグローバル化によるコスト引き下げ要請強く、加えて円安による燃料代価格上昇、電気料金の高止まり、諸経費の値上げを価格転嫁しづらい状況にあり、黒字確保のため経費節減を一層強めざるを得ない。
	建設業	役所の工事は年間の予算を消化すること、必ず実現化する。しかし、民間の工事発注は、かなり変化が発生します。予定が未定など、大幅な変更も出てきますので、業者が一番たかれます。例えば、3月発注が12月に変更になったり、もう少し待ってくださいと5日に言われた案件が、10日に社長名で中止となるなど、大きな狂いが出ます。内定した物件でも3日ないし7日以内で中止となる案件もあります。それらの保証は一切ありません。民間の約束事は常にフラフラ安定しない。
	建設業	消費税増税前の駆け込み需要のせい、生コン業者が忙しい。以前は注文したらすぐに納品してくれたが、今は1～2日待ちが普通である。足場業者も忙しいようで、足場材が在庫不足で、順番待ちである。
	建設業	なんと言っても仕事量と仕事をこなしていく職人とのバランスが悪い。受注しても仕事が進まない。また、資材の入荷状況が悪すぎる。メーカーの出荷調整が大手優先の物の流れとしか思えないほどひどい。
	金融業	土浦市駅前のテナントは「空き」が目立つように感じられる。
	不動産業	人の集まるTX沿線、ひたち野うしく周辺とそれ以外の旧市街の格差がどんどん広がっている。また、組織力、総合力を持った不動産会社と個人的な事業承継のできない不動産業者との差がはっきりとし、全体的に業者の数が減少している。
	雇用	人材派遣業
求人広告		時期ニーズもあるが、大型商業施設内店舗の採用が増加傾向にある。
学校就職関係者		消費税増税前の買い換え・買いためが身の回りで見られる。（日用品・家電）来月からは全体的に消費は落ち込むと思う。

(5) 県西地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	必要のないものは絶対に買わない。買うときは良い品質、低価格を求めるようだ。(当店で、高価格の品を見て、いざ買うときは似たような品で安い店で買う客がいる。)
	商店街代表者	暖かい日は、客数が伸びます。4店舗ありますが、4店とも気候の変化で売上げが上下するようです。このところ、土日という悪天候なので、気が重いです。
	スーパー	2月、3月現在、一品単価、買い上げ点数共に上がっている。増税前の影響大である。
	コンビニエンスストア	インターネットを通じた購入パターンが増加しており、そこに参入して、お客様のニーズを取り入れることができれば、消費は良くなると思う。
	コンビニエンスストア	大手では、所得増の話が聞かれるが、中小企業にまでは話が出ておらず、全体的な好景気ではない現実が見受けられます。
	家電販売店	まとめ買いが増え、クレジットによる購入も多く見受けられる。
	和食食堂	外税方式の業態の人たちは、あきらめて8%頂く店がほとんどのようですが、私を含め、内税方式の店は、できるだけ値上げ幅を小さくする努力をしている方が多いようです。(つまり、未だ不景気のただ中であり、値上げによるお客様離れを恐れる店が多いと言っているのではないかと思います。)
	飲食業	お客様のお話ですが、4月に入ると駆け込み需要の反動で、消費動向が一気に冷え込み多くの物が3%の増税よりも値下がりして4~10%以上の割安になるだろうと考え、不動産など高額な買い物は控えている方がいらっしやるそうです。
	都市型ホテル	地元では大きい部類に入る企業が、業務縮小するような事を耳にしました。既にリストラがあった企業もあるようで、どの業種も厳しい状態だと思う。
	旅行代理店	野菜やお米などの農産物はT P Pにより安い物が海外より入荷するだろうが、近くの農家は、良い物は良い値で売る方法を考え中との話だ。2局面があることが分かった。良い物は現在よりも高値で消費者に表示するという。私たち、サービス業も安値の競争でなく、満足のいくサービスである程度値段を下げない対策をしたい。
	ビジネスホテル	企業の求人が多くなっているような状況だが、業種にばらつきがあり、給与等の条件が低いところには人が集まらず、苦勞している。
	タクシー会社	各スーパー等にお客さんが増えている傾向にあるが、タクシーの利用客は増えない。
	タクシー運転手	工場誘致で一部上場の企業が進出しているの、今後のタクシー利用度が期待できる。
	タクシー運転手	大手自動車会社の誘致の影響がない。
	ドライブイン	消費税の上がる前に、高価な商品や日用品を買いだめしようという話が多い。
	ドライブイン	若干ではあるが、お土産品について以前よりやや高額な商品の動きが良くなってきている。
	ゴルフ場	電化製品を中心に駆け込み購入や駆け込み工事が増えているような印象がある。
	日本料理店	4月より8%の消費税にアップするが飲食業に関しては、消費者の動向は静かなように思えます。
	ゲームセンター	工場勤務の方や、とび職の人たちが昼間から来店することが多くなっている。仕事が減っているのではないのでしょうか。
	理・美容店	ニュースなどでは増税前に買い物をするなどと言われているが、私の身の回りでは特に何も変わらない。
企業	農業関係者	消費税アップなどで農産物の流通に影響があるか、心配される。
	製造業(食料品)	消費税の影響はわからないが、今のところ買いだめなどは起こっていないように思える。消費税アップを商機としての新聞のチラシ等は、増えてきている。
	製造業(食料品)	消費税増税前の駆け込み購入で家や自動車を購入した人がある。また、少額の日用雑貨(トイレトペーパー等の日持ちするもの)等も、できるだけ大量購入しようとしている主婦が結構身の回りにいる。
	製造業(印刷・同関連業)	飲食業も含めて、個人商店が参っている。後継者がいなくて、また鮮魚店が閉めた。お年寄りがちょっと買い物に行けるお店が、一軒、また一軒とやめていく。3月11日で東日本大震災も3年過ぎるが、復興が大分遅れている。地方にも同じ事が言える。みんながハッピーにならないと、ますます犯罪が起きないかと心配でならない。
	製造業(化学工業)	顧客となる製造メーカーの海外生産移管が進み、弊社でもそれに対応するため輸出→海外工場への生産移管が進んでいる。国内での生産減を何とか最小限にしたい。
	製造業(窯業・土石製品)	石材業は、春彼岸の需要に加え、消費税増税前の需要が重なり、業務多忙の業者も多いと聞く。
	製造業(窯業・土石製品)	町の中の商店は閉店、廃業し、シャッター通り化しているのに、街道沿いのコンビニエンスストアだけは新規開店が数多く見受けられます。私の家の近くにも、つい最近オープンしました。が、人家が多い、車通りの決して多いとはいえない場所なのに、なぜ開店するのか不思議に思いながら車から見て通っています。まだ入っていませんが、簡単に始められる商売は、簡単にやめることになると思います。皆さんはいかがお思いでしょうか。
	製造業(金属製品)	材料の値上がりを手伝ってか、部品単価は下げ止まった感がある。
	建設業	小売店の元気のある会社が無い。
	不動産業	太陽光発電関係の駆け込み取引が急増した。

雇用	求人広告	クライアントの日常話から、高額商品が売れていると聞く。車ディーラー、ハウスメーカーなどとても忙しく、打ち合わせの時間もなかなか取れないと話を聞く。
	学校就職関係者	仕事量は増加傾向にあるが、材料費・経費が嵩み利益率は落ちている。仕事量の増加が、消費税アップ前の駆け込み需要とも見られ、不透明感あり。先行き、オリンピック特需を期待する声も聞かれる。
	求人開拓員	求人は増えているが応募者がいない。求人とのミスマッチがある。求人が建設・運輸業に偏っている。